ライオン誌（毎月20日発行）第55巻第1号 2012年6月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION

IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

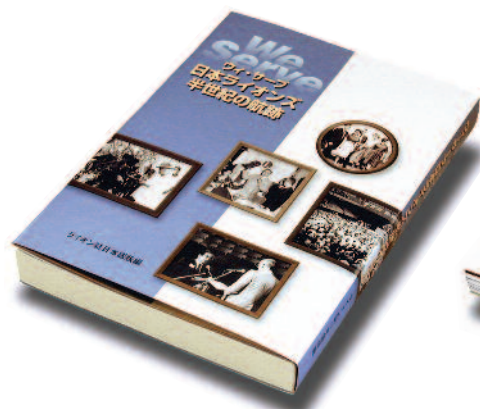
WWW.THELION-MAG.JP JULY 2012 7

メンバーシップ

ライオン誌日本語版出版物

創刊55周年記念特別セット（価格1,000円／送料込）

ライオン誌日本語版は2012年7月号で、第55巻目に突入します。ライオン誌日本語版委員会ではこれを記念して、7月からライオン誌出版物のうちライオンズの歴史に関連する『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』を3冊セットにして1,000円（送料込／通常1,900円・送料別）で頒布することにしました。この機会にぜひお求めください。
※部数に限りがあります。お早めにお申し込みください。

●ウィ・サーブ

1952年に初めてのライオンズクラブが誕生してから、世界有数のライオンズ国となるまでの日本ライオンズ半世紀の軌跡。
B6判 332ページ（※通常頒価800円）

●ライオニズムよ永遠に

ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズの生涯を時代と共に活写した労作。ジョーンズの書簡集と寸言録も収録。
B6判 224ページ（※通常頒価800円）

●『ライオン』誌創刊号復刻版

1958年、『ライオン』誌日本語版創刊。発行部数はわずか4,500部だったが、誌面からは草創期の活気がひしひしと伝わってくる。
B5判 68ページ（※通常頒価300円）

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jpあてにご注文ください。
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門…………□部
●クラブ運営の基礎知識…………□部
●リーダーシップを養う…………□部

●創刊55周年記念特別セット…………□セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の３冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

LION MAGAZINE IN JAPAN
July 2012, Vol.55 No.1

We Serve CONTENTS

■2012年7月号
表紙
香川県東かがわ市
かめびし屋
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

MESSAGE FROM THE PRESIDENT

ライオンズの奉仕は永遠に

本年度も終わりに近づいてきましたが、6月末の釜山国際大会で多くの皆さんとお会い出来るのを楽しみにしています。今回は史上最大とは言わないまでも、最も大規模な大会の一つとなりそうです。

私にとってライオンズクラブの国際会長を務めたことは、大変な名誉であると同時に大きな喜びでもありました。ライオンズは今年、信じられないほどの情熱を見せてくれました。私たちの奉仕は新たな高みへと到達し、それは各クラブの会員一人ひとりの功績です。

またこの1年間、ライオンズはアットホームなクラブ生活を楽しみました。皆さんが「クラブは家族」という考え方を取り入れてくれたため、今年は会員維持が強化され、全体的な会員数も増加しています。

積極的に取り組んだ植樹キャンペーンでも、これまでに植えられた木は830万本を超えています。植樹は地域社会を美化するだけでなく、維持するためにも役立ちます。私たちが植えた木々は150万トンもの二酸化炭素を吸収することになり、それは会員1人当たり1トン余りに相当します。ライオンズは地球を救うために手を貸しているのです。

信念を持って取り組む時、私たちは勇気・意欲・行動を結集し、世界を生きるに値する望ましい場所へと変えることが出来ます。国際会長として過ごした1年間は、その事実を議論の余地なく明らかにしてくれました。最後に私の心を占めるのは、当たり前なクラブの普通の会員の姿です。静かにすばらしい奉仕を提供している皆さんをたたえると共に、一人ひとりのご多幸を心よりお祈り申し上げます。ライオンズに対する皆さんの信念が恵まれない人々に希望を与え、彼らの必要を満たしてきたのです。この1年の間に、「私は信じる」は「我々は信じる」へと変化しました。ライオンズは今後も信念の力によって地上を豊かにし、世界で最も偉大な奉仕組織であり続けることでしょう。

タム会長は5月31日、野田佳彦首相を表敬訪問。NGOの国際貢献について意見を交換し、野田首相からは東日本大震災に対するライオンズの支援に感謝の言葉が述べられた

2011-12年度国際会長
ウィンクン・タム

THEME

メンバーシップ

4月1日に開かれた日本ライオンズ・メンバーシップ・セミナーから、ケイ・フクシマ元国際会長の講演とパネル・ディスカッションの概要を伝えると共に、国際本部が実施した会員調査の分析結果からメンバーシップの現状と課題を考える。

写真：マリンプレスジャパン/アフロ

ケイ・K・フクシマ元国際会長講演

日本ライオンズの活性化に向けて

「日本はいつもリーダーだった。世界中からやはり日本だな、と言われてきました。これからもそうあってほしい」

フクシマ元国際会長の講演はクラブの強化と地区の発展のために取り組むべきことを述べる実践的な内容だったが、時に力強い口調で、日本ライオンズに寄せる大きな期待が語られた。

クラブの強化のために

●クラブ学習会

「クラブを強化するためには、少なくとも年に一度、学習会を開催することです。クラブが抱える問題を特定し、解決して、活気を維持することにつながります」

三つの手法が具体的に提示され、そのうち日本のGMTが作成した「クラブサクセス・ワークショップ」と協会が提供している「クラブ向上プロセス（CEP）」（＊注）について、GMTエリア・リーダーを務める高田順一国際理事から説明があった。いずれも、ブレーン・ストーミングやディスカッションにより参加者全員が意見を出し合い、ボトムアップでクラブの改善を図るものだ。フクシマ元国際会長からはアメリカで用いている「Tチャート」という方式が紹介された。これもメンバー全員でクラブを検証し、自分たちでクラブをより良いものにする方法。参加者全員でクラブの嫌いなところや不満な点（マイナス）、良いところや好きな点（プラス）をリストアップ。リストからそれぞれ5点を選択し、5グループに分かれてマイナス面を最小化、プラス面を最大化するアクション・プランを協議、作成。クラブはその中から特に重要な施策を選び実施する。

「私のクラブでは年2回、年度初めの7月と、12月に学習会を開いています。2年半で40人だった会員が92人になりました。私が指導したテキサス州のクラブは、247人だった会員が現在は300人以上。大きなクラブでも小さなクラブでも成果を上げています」

●主要アクティビティ

「ライオンズクラブは奉仕が一番でしょう？　市民に『あのプロジェクトは○○ライオンズクラブのプロジェクトだね』と言われるような主要アクティビティがあれば、クラブの使命が明確になり、メンバーは誇りを抱けるようになって、地域社会で存在をアピールすることも出来ます」

フクシマ元会長は所属クラブを例に挙げた。サクラメント・セネターラ

イオンズクラブの主要アクティビティは、サクラメント動物園に作った「感じる庭」。滝や香りを放つ花々を配した日本的な庭は、視覚に障害を持つ人々も楽しめる。メンバーや家族の手で庭を完成させた後も、清掃や補修などアフターケアを欠かさない。

「誇りや充実感を持てる奉仕がなければ、若い人たちは入ってきません。もし入会しても、すぐに例会に出てこなくなり、クラブを去ってしまう。手を使い、体を使って奉仕をする。資金も使う。クラブの事業資金がなくなったら一丸となって新たな資金調達事業に取り組みます」

　事業資金の調達には年2回のフード・フェスタがあり、市民にチケットを販売して、メンバーが300人分の食事を作る。毎年4万ドルぐらいの収益を上げて、主要アクティビティに充てている。

「自分の体を使う活動に充足感を覚えたメンバーは、自然に友人や知人をクラブに連れてくるようになります。例会ではなく、資金調達事業に一緒に参加してもらい、その資金をどのように役立てたかを後できちんと報告する。そうすれば、仲間に加わってもらうのは難しいことではありません」

●新会員の招請

「なぜライオンズクラブに入会しないのか。最も多い回答は『誘われなかったから』という単純な答えです。協会の調査によれば、新会員のスポンサーになる会員は全体のたった10％だけ。クラブ全員が新会員の招請にかかわるようになれば、増強は難しいことではありません」

　クラブの強化に特に必要なのは若い会員の入会だが、「若い人たちは自分のことばかり考えている。暇がないし余裕がなく、忙しいから無理」という諦めの声が聞こえてくる。フクシマ元会長はこのように反論した。

「私は結婚間もない1966年に若くして入会しました。仕事は忙しかったけれど、子どもがリトルリーグに入ればそのサポートをし、ライオンズの行事にも休まず出席した。私たちはそれをやってきたんです。どうして今になって、若い人には無理だと言うのでしょう。若い人たちは皆さんと同じように人の役に立ちたいと考えていますよ。これはプライオリティーの問題、ライオンズが大事だと考えるかどうかです」

日系3世のフクシマ元国際会長は、日本語の猛特訓をしてセミナーに臨まれ、時折メモを確認しながら、親しみやすい口調で参加者に語り掛けた

　フクシマ元会長はまた、10人に満たない会員数で発足出来るクラブ支部プログラムや、「クラブ内クラブ」のコンセプトも紹介した。「クラブ内クラブ」は若手会員2～3人が新しい奉仕活動やチャリティー・イベントを企画し、協力してくれる地域の人たち6～10人を募って実施するもの。有意義な新しい事業を行うと同時に、地域の人とクラブを結びつける効果がある。

地区の発展のために

●エクステンション

「地区、複合地区でライオンズを発展させるために、いちばん良い方法はエクステンション、新しいクラブを作ることです。どうしてかというと、まずは平均年齢が低くなる、そして男性も女性も一緒に活動するクラブが出来ることです。古い考えにとらわれて、『昔はこうだった。こうでなきゃならない』とネガティブなことばかり言うクラブには若い人たちは入りたがりません」

　エクステンションの手法としてフクシマ元会長が示したのが、スペシャル・インタレスト・クラブ。災害救援など具体的な目的を持ったり、趣味やスポーツなど共通の関心事を持つグループで新クラブを結成しようというものだ。更に協会創設100周年に向けて、2017年に日本で100の新クラブを結成する、全ての主要都市にチャーター・メンバー100人の新クラブを結成する、というスケールの大きなチャレンジも提案した。

「どうして私たちが会員増強に成功していないかというと『メンバーになりませんか』と聞かないから、『新しいクラブを作りませんか』と聞かないからです。出来ないという考えを頭に入れたら本当に出来ない。ポジティブに考えれば人は集まってきます。出来るという強い気持ちで、みんなで力を合わせてください」

（＊注）CEPは国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclub.org）で、「クラブサクセス・ワークショップ」はライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）で資料をダウンロード出来る

メンバーシップとクラブ強化について、パネリストがそれぞれの経験を交じえて意見を述べ、参加者との質疑応答が行われた。以下はパネリスト、質問者の主な発言要旨。

パネル・ディスカッション

パネリスト：　**山田實紘**（国際理事会アポインティー／岐阜県・美濃加茂）
大野元裕（330-C地区元ガバナー／埼玉県・川口）
長澤千鶴子（333-C地区第1副地区ガバナー／千葉県・柏なの花）
進藤義夫（クラブ会長／東京世田谷）
モデレーター：　**後藤隆一**（元国際理事／千葉県・柏中央）

クラブ支部の活用

後藤　フクシマ元会長のお話に出たクラブ支部をどのように活用し会員増、クラブ増につなげたらよいか。

長澤　日本に63あるクラブ支部の6割が333複合地区で、333-C地区には9支部がある。私のクラブは2年前に平均年齢35・8歳の支部を立ち上げた。15人でスタートし、現在18人。あと数人入ったらエクステンションするか、あるいは親クラブを継承するか、その時の状況に応じて判断出来る。地区内140クラブのうち20人以下のクラブが46、こうしたクラブに支部を作って20人にもっていきたい。来期は26ゾーンに一つのエクステンション、またはクラブ支部発足を目指す。

大野　エクステンションをするエネルギーをどう伝えていくかという手法の問題がある。私は第2副地区ガバナーの時に出前セミナーを開いて、クラブ支部プログラムをどう活用したらいいか説明した。提唱したのは一つのゾーンに会員の子息を集めたクラブ支部を作り、スムーズな継承を図ろうということ。ガバナー公式訪問では会員セミナーを開き、エクステンションに総意で取り組めるよう、それぞれのアイデアをくみ上げることに努めた。

茅島純一（東京江戸川東）　会員2世や女性だけのクラブ支部は分かりやすいが、他に事例があれば教えてほしい。

大野　私の年度に出来た三つの支部のうち、一つはエクステンションのための支部、一つは会員2世の支部、もう一つは解散クラブの会員の受け皿となる支部だった。

長澤　被災地にはライオンズの支援を受けて出来た屋台村の店主によるクラブ支部が発足している。

メンバーシップの強化

後藤　メンバーシップ高揚のために私たちに何が出来るか、何をすべきか。

山田　会員が減少しているから会員増強、エクステンションが必要なわけではない。国際協会が200周年に向かうには後継者を育てることが不可欠。我々の愛するライオンズ、世界で重要な役割を果たすライオンズを未来につなげるために、メンバーシップの問題があると認識したい。

進藤　私のクラブは結成48年目で会員数42人、平均年齢は52歳。世代交代がうまく進んでいる。月1～2回、多い時は3回の主に労力アクティビティがあり、新しい事業を次々に打ち出している。現場に足を運ぶことで大きな刺激を受け、新しく入った人たちも次に何が出来るかを自分で考える。大きなポイントは先輩方に理解があり新しいアイデアを積極的に実行させてくれること。若い人の意見が反映されることが新会員の定着につながる。

濱野雅司（埼玉県・岩槻）　私のクラブは結成45年、平均年齢65歳で、年々活気が無くなっている。ライオン進藤のクラブがどのように活性化しているか、もう少し詳しく聞きたい。

進藤　クラブの活動に共感して若い人が若い人を招請している。会員増強例会では、会員の知人、友人の費用をクラブが負担し、30代が大勢集まって活気づく。もう一つはインターネットの活用で、フェイスブックやSNSでクラブの活動を発信したり、他クラブの

情報を得ることで活性化している。

主要アクティビティ

後藤　主要アクティビティで会員の気持ちを一つにし、退会者が出ない、活動を見た人がクラブに入ってくる、という流れを作るにはどうするか。

大野　アクティビティの見直し。クラブには長年の間に多くの事業が積まれている。ガバナーとしてクラブの力を取り戻すためにアクティビティを見直し、みんなで企画から参加しようと訴えたが、取り組んだクラブは少なかった。そんな時に3・11が起こり、これが大きな転換になって、アクティビティに立ち戻り活性化したクラブがある。メンバーシップを考える上でも、アクティビティの再考が大きな力になることを思い知らされた。

山田　日本のクラブは保守的で、継続アクティビティが10年、20年前の感覚のまま続いている。一方で、地域の人たちには何をしているのか理解されていない。これでは若い人たちが入ってくるはずがない。地域には何が必要か、行政の手が届いていないのはどこか、それは1年1年違うはず。地域の声を聞いてニーズを把握し、それに応えるアクティビティをすることで、ライオンズはこうやって力を貸してくれる、自分も仲間に入りたいと思ってもらえるようにしたい。

進藤　地域に足を運び、顔を見て、ニーズを拾い、自分の頭で考えて行うアクティビティは人の心を打ち、笑顔をもたらす。高齢化が進んだり、人数が少なくなって労力アクティビティが難しくなったクラブは、何クラブかで合同アクティビティをしてはどうか。一緒に取り組むことで仲間が増えるし、クラブ合併という道も生まれるかもしれない。どんなアクティビティをすべきか分からないクラブがあったら、それを教えてあげるコーディネート機能も、キャビネットやガバナーの仕事ではないか。地域のニーズを幅広く把握しておけば、活性化につながるアイデアをクラブに提示することが出来る。

増田敏雄（第1副地区ガバナー／鹿児島城山）　地区ガバナーは地区内全体のコーディネーター役を果たすものと考えてよいか。

フクシマ　地区でリーダーシップを取るのはガバナー。キャビネット構成員、クラブ会長はガバナーのプログラムを理解し、受け入れて推進する。日本では元ガバナーの名誉顧問会というのがあり、ガバナーをサポートする意見を出すのはいいが、足を引っ張るようなことがあってはいけない。

山田　ガバナーは権限を持つだけに責任は大きい。その責任を負った上で、いいと思ったことはどんどん進めればいい。名誉顧問はアドバイザー。相談された時に初めて意見を述べるもので、判断はガバナーが責任を持ってすべき。

後藤　さまざまなクラブがさまざまなことを行う上で、ガバナーがそれを調整し、力づけて、サポートすることをキャビネット役員に指示し、活性化を図るという意味ではコーディネーターと呼べるだろう。

日本ライオンズの力

フクシマ　皆さんの中から、日本のライオンズはすばらしい、負けないという強い決意を聞かせてほしい。

山田　日本は今はナンバー3だが、アメリカに次ぐナンバー2を取り戻さなければならない。ナンバー1にだってなれる。そんなパワーを持って進んでいきたい。ライオンズが地域の力を盛り上げていくことが、国興しにつながると思っている。

大野　ライオンズの力を私たちは過小評価しているのではないか。かつて外務省にいたが、そこで見た国連の組織よりも、集めたお金を全て奉仕に使うライオンズの方が力がある。ライオンズが将来に託していくだけの価値のある団体だという事実を皆さんと共有したい。

長澤　タム国際会長は女性の比率を50％にしようと強く訴えておられる。日本ライオンズの元気のもと、それは女性会員の増強、そして女性リーダーの発掘にあると考えている。

進藤　入会前はライオンズは雲の上の存在だと思っていた。入会してさまざまなアクティビティに参加して相手に喜ばれ、今はとても楽しい。歴史が長いクラブでも、うまく世代交代を進めて、ライオンズが楽しいという人がたくさん出てきている。こういうクラブが増えていけば、日本のライオンズはまだまだ明るい。

（取材／河村智子）

グローバル会員調査に見る 日本ライオンズの特徴

国際理事／GMTエリア・リーダー　高田順一（富山昭和ライオンズクラブ）

初めに

日本ライオンズ・メンバーシップ・セミナーは国際本部の川平謙慈統括部長による「日本ライオンズ会員動静とグローバル会員調査結果」と題するプレゼンテーションで始まりました。スクリーンには青く美しい富士山が写し出されていました。私には富士山と左右に広がる裾野のシルエットが、そのまま日本ライオンズの会員のトレンドを表しているかのように思えました。

左の裾野から富士山に向かって大きく伸びる曲線が雪を頂いた山頂からは右肩下がりの曲線を描いています。ピークは日本の会員数が最大になった1993年頃を表すのでしょうか。そして右の曲線はこの後、右肩上がりの山並みに連なるのでしょうか?

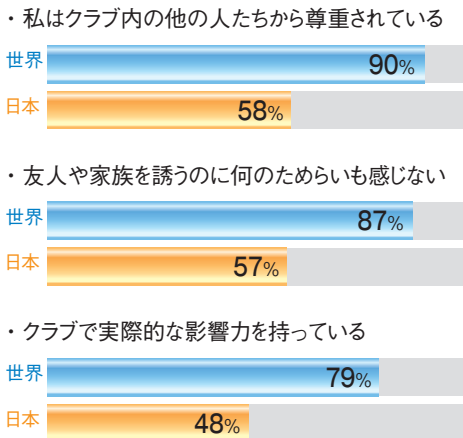
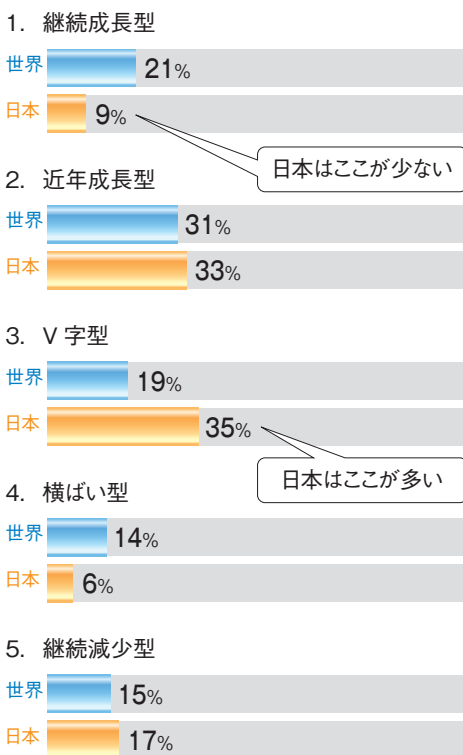
今回のセミナーはタム国際会長の肝入りで、日本ライオンズの再生、復活を意図して開催されました。私は全国から会場に駆けつけて頂いた参加者の熱意とリーダーシップによりライオンズクラブの改革が実行されること、そして2012年4月1日が、会員増強のトレンドが上昇に転じる節目になることを信じています。そのために皆様には国際協会がこれからの重点課題としているグローバル会員調査（プロジェクト・リフレッシュ）に関心を持ち、改革の切り口にして頂くことを期待します。幸い日本については重要国として他の国に先駆けてDEEP DIVE（深く掘り下げた分析）がなされています。

クラブ学習会で利用出来る二つのプログラムについて説明する高田国際理事

グローバル会員調査の目的

グローバル会員調査は国際理事会長期計画委員会によって企画・実行されました。それはあまりに多くのクラブが活力を失っている現実があるからです。2010・11年度において新規入会者ゼロのクラブが世界で33%あり、60%のクラブで会員が増えていないというデータでした。

この原因と対策を探るため、

- 会員が増えているクラブと減っているクラブの違いとは?
- 成功しているクラブの特徴は?
- 会員が理想としているクラブとは?

●ライオンズの儀式と慣例は会員にどう思われているのか？
●どんな人たちがライオンズに加わってくれるのか？
●会員がクラブについて満足／不満に思っている点とは？

などの項目についてグローバル会員調査が実施されました。

その結果、会員に満足を与え会員増強にも成功しているクラブとそうでないクラブの違いがどこにあるかを導き出すことが出来ました。

調査の段階

昨年度から外部の調査会社の支援を得て大がかりな調査が実施されました。

1. クラブの特徴を分析し、分類体系を見いだしました。

2010・11年度のクラブ及び会員データを分析し、クラブの成長／衰退のパターンを特定しました。

2. 会員のクラブ体験について調べました。

全11公式言語で会員アンケートを実施。全会則地域の7800人から回答を得ました。日本からは547人（男性94％、女性6％）が回答。

3. 会員が増大・減少しているクラブの特徴を特定しました。

クラブの成長／衰退と会員のクラブ体験の相関関係を調査しました。

4. 非会員を対象にライオンズクラブの知名度、ライオンズに対する印象、活動に対する印象について調査、元会員からも意見を聞きました。

アメリカ及びカナダの成人2100人、5年以内に退会した32カ国の元会員1500人が回答しました。

非会員でボランティアに興味を持っていると答えた38％（800人）を対象に再調査しました。

5. モデルクラブをいくつか取り上げ、具体的な成功事例の聞き取りを行った上で、これらの成功事例を使い、クラブがそれぞれの特徴や個性を形成出来るよう支援する実用的なマニュアルを作成しました。

22カ国から選ばれた会員を対象としたオンラインのグループ・インタビュー（英語）を行いました。

6. 女性と家族を特別に分析しました。

調査結果

1. 満足度調査では、会員の所属クラブに関する満足度を調査しました。

10項目の質問で1～3を「低満足」、4～6を「高満足」と定義しました。

日本ライオンズは満足度が世界と比べ低く、世界平均では81％が高満足、日本は53％が高満足という結果でした。日本の場合、全項目で満足度が低いのですが、特に図1の3項目で世界平均を大きく下回りました。

高満足と回答した会員は以下の特徴を有しています。

●所属しているクラブがライオンズの使命に忠実で、クラブ体験が会員の満足度に直結している。
●より奉仕活動に積極的で、会員間のつながりが強い。
●高満足会員はライオンズに関する知識、情報に関心度が高い。

2. クラブ及び会員データを分析し、世界と日本のクラブを過去10年間の会員数の変動データに基づき五つのタイプに特定しました（図2）。

3. 会員動静と満足度でクラブを区分けしました。会員の満足度が高く、かつ会員数が増加、安定しているクラブ（継続減少型以外）をゴールドクラブ、それ以外をブルークラブと区分します（図3）。

その上で、全てのクラブを6種類のタイプに特定しました（図4）。

図1

・私はクラブ内の他の人たちから尊重されている

・友人や家族を誘うのに何のためらいも感じない

・クラブで実際的な影響力を持っている

図2

5. 継続減少型

世界 15%

日本 17%

ファミリー重視タイプ

●会員の子どもや家族にも参加する方法や機会を提供している。

●会員の月間ボランティア時間が最も長い上に、金銭面での協力も多く、協会にとって大変貴重な存在である。

●価値ある奉仕を行い、多様性（性差、社会経済性、人種など）を奨励し、親睦を深める機会を会員に与え、更に奉仕事業に楽しみの要素を取り入れている。

親睦重視タイプ

●社交的な部分をより重視する。

●例会は他のメンバーとの懇親のために持ち、二次的に事業・行事を企画する傾向がある。

●「自分は歓迎されている」と会員に感じさせ、親睦を深める機会を提供し、奉仕活動にも楽しみの要素を取り入れている。

貢献重視タイプ

●さまざまな資金獲得／募金事業と活動が、地域のために役立っているかどうか確認することを特に重視。

●直接人のためになる有意義な奉仕活動をする傾向が非常強い。

●社交性は低く、事業の企画、親睦など、理由のいかんを問わず例会へのモチベーションがいちばん低い。

透明性願望タイプ

●会員の大部分は、クラブ資金が正しく使われていることを示す透明性を求めている。

●こうした会員の多くがクラブ選挙が公正に行われているという確信を得たいと望んでいる。

●ライオンズに費やしている資金が収入に対して最も高い、非常に重要なグループである。また、団体を問わずボランティアに費やしている時間、そしてLCIFへの献金額の面でも他と並んで2位となっている。

●「自分はクラブ内で影響力を持っている」または「自分の割いている時間や金銭に対して得るものに満足している」と答えた会員はごく少数である。

サポート願望タイプ

●会員には「クラブにもっと会員がいたら」という気持ちが最も強い。

●しかし、男女平等を求める気持ちは最も低い。

●クラブの現状を好転させるために何らかの力を得たいと望んでいる。

●このタイプのクラブの会員が望んでいること：「世界各地で他のクラブが行っている奉仕と、国際協会の構造についてもっと知りたい」「物事を説明してくれるメンターがほしい」「地区の指導層からの助け、刺

図3　図4

激や示唆及びサポートがほしい」

男女平等願望タイプ

●会員数が最も少なく、全体的に女性の割合が最も少ない。

●多くの女性にかかわってほしいと望み、クラブがもっと多くの女性を役職に就かせてくれたらと願っている会員が最も多い。

●興味深いことに、前記の回答者はわずかに男性の方が多い。

4．儀式と慣例（オンライン・グループ・インタビューで調査）

各会則地域を以下の三つのグループに分けることが出来る。

(1)慣例好き：メキシコ・中南米・カリブ海諸島、東洋・東南アジア、インド・南アジア・アフリカ・中東＝多くのクラブが慣例を実行しており、大半がそれを重要だと考えている。

(2)慣例への関心が低い：ヨーロッパ、大洋州及びその周辺＝慣例を実施している割合が最も低く、実施していてもそれを重要だと考えているのはごく少数。

(3)慣例離れ：アメリカ及びその周辺、カナダ＝多くのクラブが慣例を実行しているが、それを重要だと考えているのはごく少数。

ちなみに、日本ではライオンズ・ソングとローアは比較的好まれているが、ベストやピンはそうではない。

例会については、ほとんどのクラブが「月に2回」、例会を持っている。これは4人に1人が「月に1回」を理想にしているのと大きなギャップがある。また、過半数が平日夜の例会を希望しているが、実際には平日の昼食時の例会が多い。ほとんどの例会は食事を伴うが、希望している会員は6割。

5．女性と家族

(1)クラブにおける女性会員比率

84％のクラブで女性会員はなしか2割以下と少数派、3割は女性会員なし。

(2)成長型別女性会員比率

世界でも日本でも、継続成長型のクラブの女性会員比率がいちばん高い。

(3)満足度の高い会員は、女性・家族の参加に、より積極的。

78％が男女均等の参加を望ましいと考え、過半数が会員家族のボランティアへの参加に肯定的。

ゴールドクラブ、ブルークラブの特徴を説明する川平統括部長

会員調査のまとめ

1．会員の満足度の低さは日本のライオンズにとって大きな課題。

2．ライオンズクラブの使命に、より忠実なクラブほど、会員の満足度は高い。

●人の役に立つ有意義な奉仕活動を行っている。

●クラブが自分の住む地域の役に立っている。

●地域以外の人々の役に立っている。

3．高満足の会員のクラブは会員間のつながりが強い。

●雰囲気が温かく、会員同士に友人関係がある。

●奉仕活動に楽しさを取り入れている。

●幅広い会員の多様性を歓迎。

4．満足度の低いクラブはどうすればよいのか。

●クラブ運営の透明性を高める。

●もっと多様な会員層を歓迎する。

●地区、複合地区そして国際協会からどのようなリソースが提供されているのか、会員に情報を提供する。

●奉仕活動のマンネリを打破するため、他クラブの活動内容を参考にする。

サンフランシスコ国際理事会で行われたグループ･ディスカッション

終わりに

国際協会では全理事とグローバル会員調査結果を共有するため、サンフランシスコ理事会において3時間のブレーンストーミングを使ったグループ・ディスカッションを行いました。

日本ライオンズにおいてもまずリーダーの皆さんが、このグローバル会員調査結果を使ってディスカッションすることが大切ではないかと思います。

限られた誌面でグローバル会員調査の一部しかご紹介出来ませんでした。

国際協会作成のパワーポイントのデータがありますので、関心をお持ちの方はライオン誌へEメール（edit@thelion.jp）でご請求ください。

被災地のライオンズは今

332-D地区第6リジョン第2ゾーン（福島県・原町、相馬、飯舘、新地）

「津波」と「原発」のダブルパンチ それでも前へ進む浜通りのライオンズ

福島県は地形や気候、交通などの面から浜通り、中通り、会津の3地域に分けられる。332・D地区第6リジョンは浜通りのクラブで構成され、第2ゾーンは浜通り北部の相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村の4市町村から成る。それぞれの市町村に1クラブずつ結成されており、南相馬市にある原町ライオンズクラブ（山田智照会長／20人）が1972年、相馬ライオンズクラブ（針ケ谷克之会長／13人）77年、飯舘ライオンズクラブ（休会中）79年、新地ライオンズクラブ（水戸誠会長／27人）97年の結成となっている。

「東日本大震災では新地、相馬、原町の3クラブが津波で大きな被害を受け、新地町116人、相馬市458人、南相馬市929人と、1500人を超える方が犠牲となりました。

更にこのゾーンは、その後に起こった福島第一原子力発電所の事故により、飯舘村が全村『計画的避難区域』に、また南相馬も一部地域が『警戒区域』や『計画的避難区域』に指定され、大変な状況に追い込まれました。飯舘は休会を余儀なくされ、原町も半数以上の会員が市外に避難しているため、思うような活動は出来ていません。新地と相馬は幸い放射能は少ないのですが、それでも海産物や農作物などに影響が出ています。相馬のカレイやアイナメは本当においしいんですよ。でも1年以上、地元の魚を食べていません」

と、岩崎和夫ゾーン・チェアパーソン（相馬ライオンズクラブ）は現状を話してくれた。

原町ライオンズクラブのある南相馬市は4月16日に避難区域が「避難指示解除準備」「居住制限」「帰還困難」の3区域に再編された。これにより立ち入りが自由になった地域もあるが、宿泊は依然として禁止され、戻って来ることが出来ない市民がまだ大勢いる。南相馬市の震災前人口は約7万人。が、現在は市内在住者約4万4千人（自宅約3万4千人、仮設・見なし仮設など約1万人）、市外避難者約2万人で、5千人以上が転出している。

「原町ライオンズクラブの場合、例会も滞りがちでしたが、夏頃から月1回開くようになり、その時には市外にいる方も戻って来られ、泊まりがけで出席したりしています。情報交換もあるし、何よりメンバー同士顔を合わせると安心するようです。また昨年10月、原町地区の緊急時避難区域指定が解除されたのを受け、4月7日には結成40周年記念式典を開催されました」（岩崎ゾーン・チェアパーソン）

一方、ライオン岩崎が所属する相馬ライオンズクラブは、震災後も途切れることなく例会を開催。

「相馬ライオンズクラブで大きな被害を受けたのはお一人だけで、その方は津波で自宅と工場の両方を流されてしまいました。もちろん、津波だけではなく地震も大きかったので、会員それぞれ大なり小なり被災はしていますが、それでも何とか活動は続けられると、例会も月1回ですが、震災前と同じように開いてきました。そんな中、334・B地区のライオンズが、震災11日目の3月22日に支援物資を持って駆け付けてくださいました。最も早い支援でしたし、物資の中には神戸のレオや、沖縄、福井のライオンズからのものもあり、ありがたいと同時に勇気付けられました」（ライオン岩崎）

334・B地区（岐阜、三重）は災害が発生した際にいち早く行動を起こせるようネットワークを整えており、東日本大震災でも力を発揮した。相馬市では災害対策本部に物資を下ろした後、相馬ライオンズクラブの案内で避難所4カ所に直接物資を届けた。また、相馬ライオンズクラブから連絡を受けた隣の新地ライオンズクラブからも会員5人が相馬まで出向き、緊

新地町役場から海岸まで1キロ余りの土地は津波のために、ほとんど建物が残っていない状況だ

急で必要としていた乳児用のミルクなどを受け取り、新地町の避難所でそれらを配布した。

「物資がなく困っていた時だったので、本当に助かりました」

新地ライオンズクラブの水戸会長はそう話す。

「334 - B地区からはその後も連絡を頂き、5月4日には新地町役場前で大規模な炊き出しイベントを開催してくださいました。この時、私は幹事をしていたんですが、参加された40人以上のメンバーの皆さんが、全国各地から集まったと聞き、驚きました」

このイベントの様子は本誌でも紹介したが、呼び掛けに賛同した11地区、45人のライオンたちが集結。また、受け入れ側の新地でも、加藤憲郎町長（新地ライオンズクラブ）自らが、朝の防災行政無線で炊き出しイベントの情報を流したことから、大勢の町民が集まり、震災以来久しぶりのにぎわいを見せた。

新地ライオンズクラブは当時の藤田修会長や、事業委員長として炊き出しイベント受け入れの中心となったライオン笹原健児ら3人が自宅と事業所、1人が自宅を津波で失い、他の会員も少なからず地震や津波の被害に遭っている。が、姉妹クラブの山形県・寒河江ライオンズクラブや、野菜不足の折に4種類の野菜を持って駆け付けてくれた334 - E地区（長野）、5月のイベントに参加してくれた全国各地の会員など、多くの支えを得て、クラブとしての活動を行ってきた。例会は昨年6月から再開。この5月からは寺社の清掃など、町内に残った名所・旧跡の整備事業を始める計画だ。

「ただ、厳しい現実もあります。震災の心労から、2月に会員一人が亡くなり、大変ショックを受けました。クラブとしても、国際会費やライオン誌の費用が免除され、地区費も半額となり、これまで会費は頂かずに積立金でやりくりしてきました。が、それも限界」

と、水戸会長は話す。4月から会費を復活させたところ、7人が退会を表明したという。浜通りのクラブは津波被害の他に、原発の放射能汚染や風評被害もあり、先行きが見通せない不安もある。ゾーン内のそうした現状を踏まえて岩崎ゾーン・チェアパーソンは、

「これまで、全国のライオンズの皆さんから受けたご支援には本当に感謝しています。が、復興まではまだまだ長い年月がかかります。息の長いご支援をお願い致します」

と話していた。

（取材／鈴木秀晃）

原町ライオンズクラブの40周年記念式典には、地区内のクラブや姉妹クラブの他、震災で支援を受けたクラブからも出席があった

昨年5月、332-D地区キャビネットから届いた支援物資を、避難所に配布するため集まった相馬ライオンズクラブの会員たち

新地ライオンズクラブ5月例会。2月に亡くなった会員の子息が、父の遺志を継いでクラブに加わり、この日、入会式が行われた

2012-13年度

地区ガバナー紹介

第95回釜山国際大会で地区ガバナーに就任される各地区ガバナー·エレクトの皆さんに、新年度に向けての抱負、 方針、 重点課題などについて原稿を頂いた。
略歴は所属クラブ、ライオンズ入会年、主なライオン歴、 職業、 就任時の年齢の順（略語：CM＝チャーター・メンバー　ZC＝ゾーン・チェアパーソン　RC＝リジョン・チェアパーソン）

District 330-A　阿久津隆文

あくつ たかふみ：東京赤坂ライオンズクラブ。97年入会。01年度クラブ会長。02年度ZC。04年度RC。㈱アセットマネジメント代表取締役。60歳。

数多くのクラブ例会やアクティビティに参加して得た経験と、3・11以降被災地へ幾度も訪問し支援して得た体験を、地区活性化のために生かして参ります。そしてメンバー、クラブの目線に立った地区運営と、メンバー、クラブをサポートする体制を構築します。メンバー一人ひとりの意識が変わればクラブは活性化します。そうすれば地区も変わります。いかにクラブを未来に導くか。クラブサクセス推進のために、原点に戻り基本を踏まえ、変えるところは変え、取り入れるところは取り入れ、行動する地区運営をして参ります。

District 330-C　中村　泰久

なかむら やすひさ：埼玉県・大宮北ライオンズクラブ。93年入会。04年度クラブ会長。08年度ZC。中村運送㈱、中村ビル代表取締役社長。49歳。

「ACTION＝行動＝」をガバナーズ・テーマに掲げ、「明日への希望・明日への奉仕」をアクティビティ・スローガンに致しました。現在のライオンズクラブは、退会者の歯止め・会員増強・将来のリーダーの育成が重要なポイントと考えます。私は「主権在クラブ」を基本に、次世代に向けた奉仕活動、時流に合った奉仕活動を実践していけば、対外的にもライオンズの存在感をPR出来、メンバーのモチベーションも高まりライオンズが発展出来るものと信じます。メンバーと一緒に行動を起こして参りたいと思います。

District 330-B　佐藤精一郎

さとう せいいちろう：神奈川県・山北ライオンズクラブ。78年入会。93年度クラブ会長。96年度地区会計。㈱サトー代表取締役会長。66歳。

「原点回帰 since1917」をガバナー・テーマに掲げ、メルビン・ジョーンズの創設当時の思いを原点として活動して参ります。会員増強の中でも特に退会防止に重点を置き、楽しく明るい例会運営や、ライオンズの目的、道徳綱領の理解を深め、会員の資質向上を目的としたセミナーを開催。また単年度では解決出来ない問題への対策として、ガバナー・チームによる継続性のある地区運営を基本方針に、クラブ向上と次世代のリーダー育成に力を注ぎ、未来につながる中長期ビジョンを持って地区発展のため邁進します。

District 331-A　渡辺　修

わたなべ おさむ：北海道・美唄ライオンズクラブ。94年入会。04年度地区幹事。06年度クラブ会長。08年度RC。㈱ワタナベエキスプレスコーポレーション代表取締役。54歳。

「LOVE&HARMONY 愛と調和」をスローガンとし、テーマを「すべては未来のために」と致しました。我々の全ての活動は未来に結びついていくものと考え、また国際会長のテーマである「奉仕の世界」では愛と調和は欠かせないものと思います。政治、経済、社会、更には人間関係までもが混沌とした時代の中、ニーズに合った奉仕活動を通じ、人と人とのつながりが生まれ、絆が育まれます。地域社会への貢献と感動の広がりを総力で実践し、新たな未来と希望につながる懸け橋となるよう精進し地区運営に努めます。

District 331-B 佐藤 信雄

さとう のぶお：北海道・富良野ライオンズクラブ。71年入会。81年度クラブ会長。00年度ZC。01年度地区幹事。㈱ヤマサ代表取締役。73歳。

スローガンは「友愛と奉仕の絆」。ライオンズはクラブ間の交流とメンバー各自の友愛で相互理解の精神を培い、地域社会に密着した人道奉仕とグローバル・リーダーを目指すのが最重要課題です。ライオンズの目的やスローガンの原点に立ち、会員の質の向上と、平和と自由を守る、ライオニズムの更なる高揚に努めます。東日本大震災の復興が進む中、この災害を風化させず、全日本で大きな奉仕の輪となり、地域社会のために、そして恒久的世界平和のために奉仕活動を深め、ライオンズの一層の活性化を目指します。

District 332-B 千葉龍二郎

ちば りゅうじろう：岩手県・水沢ライオンズクラブ。84年入会。01年度クラブ会長。04年度ZC。千葉建設㈱代表取締役社長。68歳。

東日本大震災の発生から間もなく1年4カ月。「復興元年」。被災地の皆さん、そしてライオンズクラブの会員が日々奮闘しております。ガバナー・テーマ「We Serveの心で一隅を照らす」とし、「震災復興支援」を重点目標に掲げました。

また、会員の減少が続いている現状を踏まえ、GMT・GLTの重要性を考える今、大幅な改革に取り組み、楽しいクラブ運営・簡素化したキャビネット運営を展開していきます。

その結果、退会者数が入会者数を下回ることを1年の目標とし、全力で務めさせて頂きます。

District 331-C 奥山 幸一

おくやま こういち：北海道・函館臥牛ライオンズクラブ。80年函館元町ライオンズクラブCM。04年転籍CM。03・09年度クラブ会長。05年度ZC。07年度RC。㈱つり具天狗屋代表取締役会長。72歳。

伝統を重んじるあまり建設的な若年会員と価値観を異にする人もある。歴史とは過去と現在の対話であり、互いのビジョンを受け止めてこそ発展的な改革が期待される。GMT・GLTクラブ・コーディネーターをもって会員増強、指導力育成を強化。若年会員が活動出来るクラブ支部を設立。青年アカデミー委員会を充実。奉仕活動のPR情報発信強化。クラブと地区の指針共有協働により信頼が育まれ、主権在クラブとして活性化される。これらに期待しガバナー・スローガン「協働を以て和と為す」、キーワード「信頼」とした。

District 332-C 佐藤 義則

さとう よしのり：宮城県・蔵王ライオンズクラブ。95年入会。03年度クラブ会長。09年度ZC。㈱蔵王ファーム代表理事。55歳。

我々会員は奉仕の原点に立ち返り、一人ひとりが奉仕への自覚を持ち、自ら地位、性別、震災などの障害を乗り越え、普遍的な奉仕を行うものと考えております。モットーである「We Serve」を推進するためガバナー・テーマを「普遍の奉仕」としました。当地区は東日本大震災により、あらゆるものを失いました。失ったものを取り戻すだけではなく、今までの奉仕活動を十分再検討し、魅力ある古里形成の一助になればと考えています。スローガンを「アクティビティ新時代、甦る、ふ・る・さ・と」としました。

District 332-A 外崎 勲

とのさき いさお：青森県・五所川原ライオンズクラブ。86年入会。06年度クラブ会長。07年度RC。㈱外崎配管設備代表取締役。65歳。

世界、日本の社会経済の変化に伴い会員数が減少、特に東日本大震災以来、日本のライオンズクラブも大きな打撃を受けた。夢が消え、希望も無くなったといった会員が今なお多い。スローガン「前を向いて生きる勇気ウィ・サーブ」。テーマは「明日への希望」を掲げた。過去の慣例にとらわれず、もう一度ライオンズクラブを見つめ直す必要がある。今一度大きなスタンスを取り、原点であるWe Serveへ、勇気と希望を持って進んでいきたい。「人は力なり」。一人でも多くの仲間作りが出来るよう努力する。

District 332-E 永沢 敏秋

ながさわ としあき：山形県・尾花沢ライオンズクラブ。76年入会。88年度クラブ会長。99年度ZC。㈱成和技術、成和企画㈱代表取締役。65歳。

テーマは「希望」。東日本大震災被災地の復興の道のりは長い。我々は、希望の光として輝き続けなければならない。

私に課せられた責務は地区を発展させ、次世代につなぐことにある。その源はクラブにあり、キャビネットはクラブとの相互理解を深め、高い目標を掲げ、役割分担と責任を明確にし、活動環境を整え、目標達成に邁進する。

昨今のライオンズクラブは大変厳しい環境に遭遇している。今こそ皆さんの英知を結集し、明るい展望を切り開き、我々の使命を果たそう。

※332-D地区ガバナー・エレクトライオン杉本一十士(福島県・いわき東ライオンズクラブ)は6月12日、逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

District 332-F　鍋島　喜隆

なべしま　よしたか：秋田港ライオンズクラブ。71年CM。86年度クラブ会長。91年度ZC。01年度RC。㈱ナベシマ代表取締役社長。68歳。

東日本大震災以後、夢と希望を失わない前向きでくじけない心が大切だと言われます。その心に寄り添いながら、物心両面にわたる奉仕活動は無限だと考えます。ウィ・サーブという高い志を持つ我々が地域のニーズに応えられるよう心を一つに行動すれば、必ずや輝かしい未来を創造出来ます。その数は多いほど強力な力を発揮出来るので、会員の維持・増強こそが未来を開く鍵であると考えます。「為せば成る」を地区内に強く訴え、勇気を持って踏み出すために「高い志で　輝く未来」をガバナー・テーマにしました。

District 333-C　長澤千鶴子

ながさわ　ちづこ：千葉県・柏の花ライオンズクラブ。93年CM。99年度クラブ会長。01年度ZC。07年度RC。㈱ナック代表取締役。68歳。

スローガンは「手をつなぎ　咲かす笑顔で　ウィ・サーブ！」。東日本大震災により日本が大きな衝撃と悲しみに打ちひしがれました。経済情勢が大変厳しい今こそ、心の豊かさを失わず、「奉仕」という同じ志を持った仲間が集い、絆を深めていくことが必要です。そして、主要アクティビティでクラブのアイデンティティーを確立することで、おのずとクラブの活性化につながります。特にゾーン・チェアパーソンと各クラブの連携を密にすることにより、すばらしい奉仕活動になるものと信じております。

District 333-A　田邊　仁

たなべ　ひとし：新潟県・長岡ライオンズクラブ。84年入会。98年度クラブ会長。06年度ZC。㈱修営社代表取締役社長。78歳。

ライオンズクラブの活動の原点はライオニズムの高揚であります。それには、多くの人々と接し楽しい出会いを通しての仲間づくりが肝要と考えます。活動の原点が出会いにより展開されてゆくとすると、いちばん大切なのは相手に与える第一印象だと思います。好感を与える明るい表情・言動・態度等は何によって形成されるのでしょうか。それは、その人の常日頃からの爽やかな、元気な明るい気持ち、心掛けによるものではないでしょうか。そう考えると、我々は常にそのような心構えで活動を展開すべきと考えます。

District 333-D　鈴木　正光

すずき　まさみつ：群馬県・前橋東ライオンズクラブ。74年入会。87年度クラブ会長。97年度ZC。鈴木正光税理士事務所所長。75歳。

「経営の改善は人の改善、人の改善は人の心の改善」と申します。私は次の3項目を日々の心の持ち方の誓いとしています。①物事をすべて前向きに考える。②感謝を忘れない。③愚痴をこぼさない。ガバナーズ・スローガンを「絆の創造」と決めました。今年1年間、メンバー、クラブ、複合地区、国際協会等々、多くの人々と絆を深めましょう。そしてライオンズの目指すウィ・サーブに向けて、新しい考えや技術などでライオンズ活動を前進させましょう。私たちライオンが日本創生のトップ・リーダーとして走り抜けましょう。

District 333-B　石井　清彦

いしい　きよひこ：栃木県・大田原ライオンズクラブ。91年入会。96年度クラブ会長。09年度RC。07年度地区幹事。㈲イシイガス代表取締役会長。76歳。

ガバナーズ・スローガンは、「改革そして行動」と「地域に実のある奉仕」としました。また、ガバナー方針の重要課題を「アイディアでクラブのレベルアップを」と考えています。ウィ・サーブの原点を再認識し、ライオンズ本来のクラブづくりに、クラブと共に挑戦していきたい。理想的な地域への奉仕は、ライオンズとしての生命であり使命であると指導していきたい。早期に会員増強の目標を設定していきたい。地域社会に感動を与える奉仕を、地区及びクラブと共に実現したい。

1年間、改革と行動を胸に全力で務めます。

District 333-E　大竹　伸一

おおたけ　しんいち：茨城県・水戸葵ライオンズクラブ。75年入会。99年度クラブ会長。04年度ZC。㈱フジクリーン茨城代表取締役社長。66歳。

ライオンズは原点に戻り奉仕活動をもっと充実させることが重要です。これまで以上に真摯に奉仕活動に取り組まなければなりません。周りの人々は必ずその姿を見ており、評価します。良い評価を得ることがアクティビティをする理由ではありませんが、結果としてそのような私たちの奉仕する姿を見た中から「ライオンズクラブに入会してみようか？」という人が必ず現れてくるでしょう。私はそれを信じて疑いません。奉仕活動の充実こそが会員増強につながり明日のライオンズを創ります。ウィ・サーブ‼

District 334-A　柴田富志夫

しばた　ふじお：愛知県・名古屋みなとライオンズクラブ。90年入会。01年度地区幹事。03年度クラブ会長。愛三特殊部品㈱代表取締役。70歳。

幾多の努力にもかかわらず、毎年会員の減少に歯止めが掛からない状況が続いています。

しかし、その減少のスピードに改善の兆しが見えてきています。クラブの多様化と、クラブ内会員構成の変化によるものと考えられます。我々はこうした状況を真摯に受け止め、クラブ内、クラブ外において「We Serve」の崇高な考え方を未来に向け力強く実行しなければなりません。今我々は大きな転換点を迎えているのかもしれません。多様化の中での相互理解の精神を改めて認識したいものです。

District 334-B　森下　進

もりした　すすむ：岐阜県・可児ライオンズクラブ。84年入会。00年度クラブ会長。08年度RC。御嵩コンクリート工業㈱代表取締役。70歳。

地区スローガンは「甦（よみがえ）れ日本‼永久（とわ）に繋ごう　絆と奉仕」としました。今我々は東日本の復興はもちろん、戦後67年間の中で、人としての心の豊かさ、優しさ、そして思いやりなど大切な日本の心を取り残してきたような気がします。そのためにも、青少年健全育成、人を思いやる心と何事にも立ち向かえるたくましい子どもたちの育成が急務と考えます。

また、日本からの国際会長誕生が元気な日本、活気あふれるライオンズにつながることと確信します。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

District 334-C　岡野　良隆

おかの　よしたか：静岡県・森町ライオンズクラブ。81年入会。97年度クラブ会長。09年度ZC。岡野建設㈱代表取締役。65歳。

アクティビティ・スローガンは「笑顔で奉仕人に心の豊かさを！――感動の奉仕で、日本新生」としました。今の日本は近年の経済優先の風潮から物があふれ、望む物のほとんどが金銭で手に入ります。一方貧困は心にまで及び、希望を持てない若者も増えています。本当の幸せは物品の多寡でなく、心の持ち様にあることを訴え、「We Serve」の下、東日本大震災被災者を始め困難な立場にある人々を思いやり、「和顔愛語」で「心の奉仕」の実践に、地区一丸となって取り組みます。ご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

District 334-D　木村　正明

きむら　まさあき：富山県・小杉ライオンズクラブ。84年入会。06年度クラブ会長。07年度RC。木村正明税理士事務所所長。56歳。

地区スローガンとして「人に・地球に・全ての関わりにTHANKS&HEART　ウィ・サーブ‼」を掲げました。これは、感謝とまごころをもって我々は奉仕するということです。また、地区の目的は地区内のクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚させるために、国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各クラブの運営を円滑ならしめることであり、アクティビティの主体は、あくまでも単一クラブです。キャビネットとして各クラブの社会奉仕活動が十分に推進出来るよう縁の下の力持ちとなる所存です。

District 334-E　山下　徹静

やました　てつじょう：長野県・明科ライオンズクラブ。88年入会。04年度クラブ会長。09年度ZC。宗教法人林寺代表役員。59歳。

単年度運営ゆえに活動が中途で頓挫してしまう現状を鑑み、歴代の活動に対して内容の検討・継続とそれを進化させることを目標とするべく、ガバナー・スローガンを「継続と向上　Keep Our Progress」としました。今年度はライオン個々の資質の向上を念頭に、各セミナーを実践に即したものにします。また、「ライオンズ活動に市民権を……！」。県行政との連携を図り、PRを通じて地域住民に対して理解と認知を深め、地域が求める奉仕をお互いに模索しながら会員増強に結びつけたいと思います。

District 335-A　高野　文男

たかの　ふみお：兵庫県・神戸中央ライオンズクラブ。87年入会。95年度クラブ会長。06年度ZC。神戸東亜特機㈱代表取締役社長。72歳。

本家アメリカ、ヨーロッパ、日本等、先進国で会員数の減少が続いています。幸いインド、中国等の増加により世界全体では純増ですが、我が地区も15年間で会員数は半減しました。この2年間2人のガバナーに随行、全ゾーンを訪問し私なりに問題点を考えた結果、テーマを「英知と汗と財を持って　胸のときめく　WE SERVE」。キーワードを将来の合併を視野に入れて「友愛と交友の輪を広げよう」と致しました。メンバー一丸となって奉仕活動を行う。これこそ我々の原点と認識し、地区運営に取り組んで参ります。

District 335-B　菅　春水

かん　はるみ：大阪府・八尾ライオンズ(クラブ)88年入会。03年度クラブ会長。07年度ZC。カンエイ産業㈱代表取締役会長。75歳。

地区ガバナー・スローガンは「創意を生かし、熱意を注ぎ、誠意を以てウィ・サーブ」。ライオンズの基本理念は相互理解の精神の下に成り立っています。そして社会奉仕を続け、輝かしい実績を上げています。こうした先人の築いてきた歴史を今一度検証すべき時が来ています。多様化する価値観、グローバル化、急伸するICT化、世代間格差、環境変化に伴うアクティビティの内容、資質等を見直し、熱意と勇気を持って改革し、誠意を持って奉仕に取り組む。「知行合一」、「不可能はない」の決意で立ち向かいます。

District 335-C　南清右衛門

みなみ　せいうえもん：滋賀県・野洲ライオンズ(クラブ)81年CM。93年度クラブ会長。04年度ZC。08年度RC。㈱マルセ代表取締役。73歳。

近江商人は天秤棒一つ担ぎ全国に商いを展開しましたが、その理念は「三方よし」。現在の世相はまず己の利益を優先する考え方が跋扈し、「We Serve」の精神とかけ離れたものとなっており、会員増強不振の原因の一つでもあります。

そこで、ガバナー・テーマを「三方よし」と定め、三つの「わ」（仲間の話、クラブの和、地域奉仕の輪）を推進します。今、生かされていることに感謝し、「少欲知足」を胸に奉仕の原点に戻り、地区、クラブ、会員が大きく変革出来る奉仕活動の実践に全力を尽くします。

District 335-D　瀧北美智子

たききた　みちこ：兵庫県・姫路さくらライオンズ(クラブ)94年CM。99年度・09年度クラブ会長。06年度ZC。タキキタ歯科医院事務長。67歳。

今、世の中は転換期にあります。だからこそ会員各人が「矜持の心」（誇り、プライド、自負、更に責任、節度）を持ち、「We Serve」の伝統と誇りを次世代につないでいかねばなりません。地域のニーズに適応した魅力ある奉仕が会員維持、若い会員の獲得につながります。ガバナー・テーマ「『WE SERVE』の伝統と誇りを次世代に」、アクティビティ・スローガン「矜持の心を忘れず愛ある奉仕を」。奉仕を待つ人のために。役に立つことの喜びと誇りを感じるために。ライオンであるという誇りを持つために。

District 336-A　長谷川憲男

はせがわ　かずお：高知桂ライオンズ(クラブ)69年入会。89年度クラブ会長。97年度ZC。99年度RC。㈲わらぢ屋代表取締役。80歳。

スローガンは「『心ひとつ』相手の立場でWe Serve」。キーワードは「誠心誠意」。

我々がより充実した奉仕を行うためには主語の「We」の維持増強が不可欠です。そのためには「友愛と相互理解」の精神を養うことが必要で、我々は毎例会の冒頭に「ライオンズの誓い」を斉唱し、「奉仕と友愛」を確認し誓い合います。

そして国際的にはLCIFを通じて人道的奉仕を、国内的には地域に根ざした奉仕活動を行います。これこそが「奉仕の世界」です。この1年間336‐A地区のため誠心誠意奉仕します。

District 336-B　渡部　雅文

わたなべ　まさふみ：岡山県・倉敷西ライオンズ(クラブ)93年入会。07年度クラブ会長。09年度RC。㈲ワタナベ鉄工所代表取締役社長。63歳。

選ばれて入会したライオンズクラブの魅力は、今も昔も変わることなく、「いかにライオンズの質を向上させ、地域社会に溶け込んだ奉仕活動をするか」ということであると思います。そこで、「地域と共に相互の絆で笑顔の奉仕」というスローガンを掲げました。

「楽しいクラブ」
「楽しい例会」
「楽しい奉仕」

これが出来ればおのずと人が集まり、つないだ手の輪もどんどん広がるのではないでしょうか。

District 336-C　福永　栄一

ふくなが　えいいち：広島ニューライオンズ(クラブ)89年入会。98年度クラブ会長。02年度ZC。㈱白菱代表取締役会長。63歳。

地区スローガンを「変えるのは行動、変えないのは志『WE SERVE』」と掲げました。

これには二つの思いを込めています。

若い人たちの新鮮な感性や勢いある力、経験者の熟練した知識と行動力、その両面で「変革」を起こし、それを行動に移していきたいという思い。

もう一つは、これまでのライオンズクラブの長い歴史の中で、脈々と守られてきた志を、大切にしていかなければならないということ。皆それぞれが、地位や立場を乗り越え、一つになって、ライオンズクラブの発展に邁進しましょう。

District 336-D 岡村 聖爾

おかむら せいじ：山口県・下関北ライオンズクラブ。95年入会。04年度クラブ会長。07年度RC。石川金属工業㈱代表取締役。67歳。

今までと同じ活動を継続していくだけではライオンズクラブの明日はないという危機感を共有し、地域に認められ、期待され、尊敬される存在感のあるクラブづくりに全員参加で取り組んで参ります。

地区スローガンを「光と愛を！」とし、献眼、献血未実施クラブ0（ゼロ）を目指します。ガバナー・スローガン「『考動』『感動』『躍動』We Serve」の下で、考えて行動し、自らが感動することで、地域に感動を呼び起こすアクティビティを継続し、未来を切り開き躍動する1年間にして参ります。

District 337-C 立石 光司

たていし みつし：長崎県・佐世保ライオンズクラブ。73年入会。88年度地区会計。92年度クラブ会長。05年度ZC。06年度RC。㈱くらし文化研究所代表取締役。75歳。

私はガバナー提言を、「We Serve」とさせて頂きました。

今、社会から求められ必要とされる奉仕は何か、共に考え行動し、その成果を着実に具現化していきたいと考えています。

奉仕活動に境界はありません。

私は、支え合う心で絆を大切にし、相手を認め、負けない強い心を持ち、L字の誇りを胸に、337-C地区会員の皆様と共に楽しく社会奉仕に精進して参ります。

We serve For our Humanity of Life

District 337-A 松井 和子

まつい かずこ：福岡花ライオンズクラブ。89年福岡桜ライオンズクラブCM。00年転籍CM。92、00年度クラブ会長。95年度ZC。社会福祉法人花筏会理事長。75歳。

私の目標は女性会員を世界レベルまで増強することです。世界の女性会員の割合は24％、日本はその半分の11％です。当地区でその数字まで持っていくために汗を流したいと思います。私の大好きな言葉に「流した汗は嘘をつかない」というものがあります。目標を作り、計画を立て、確実に実行し、成果を上げる。女性会員と共に積極的に社会奉仕に参加し、共に活動し、一般の人にも奉仕のすばらしさを理解して頂き、入会につなげていきたい。また人に感動を与え、共鳴してもらえるライオンズ活動をしていきたいと思います。

District 337-D 増田 敏雄

ますだ としお：鹿児島城山ライオンズクラブ。75年入会。86年度クラブ会長。95年度ZC。03年度RC。増田歯科医院院長歯科医師。76歳。

地区スローガンに「勇気、真心 ウィ・サーブ」を掲げました。ヘレン・ケラー女史の語録「人が最もときめき、輝く時、それは誰かのために何か（奉仕）をしている時、そのためには勇気が必要」を根幹としています。ガバナー・テーマは「前へ」。勇気とは恐れや不安を乗り越えて一歩前へ向かっていく強い意志であると信じるからです。先人たちが築き上げた歴史と伝統を踏まえながら、新たなる挑戦を目標に、全ての会員がときめきを感じ、輝ける奉仕のために勇気を持って邁（まい）進出来るよう全力を傾注して参ります。

District 337-B 橋口 丸夫

はしぐち まるお：宮崎県・都城ライオンズクラブ。82年入会。99年度クラブ会長。01年度ZC。06年度RC。㈲橋口室内デザイン代表取締役。62歳。

私たちは「We Serve」を基本に地域に根差した奉仕活動を行っていますが、地域の方々とどれだけ接点を持ち、認識されているでしょう。地域が求める本当の奉仕とは何か、過去の奉仕を振り返り検証すべき時だと思います。青少年健全育成事業については薬物乱用防止教育に積極的に取り組みます。「和と原点・時代（とき）を越えて響きあう奉仕の鐘（ゴング）」をスローガンに、会員のクオリティーの向上に努め、すばらしい奉仕の鐘を鳴らし続けられるように、ライオニズムの原点に立ち、更なる高揚に努めて参ります。

District 337-E 髙木 保昌

たかき やすまさ：熊本県・宇土ライオンズクラブ。81年入会。95年度クラブ会長。05年度RC。㈱高木海藻店代表取締役。55歳。

昨年、東日本に未曽有の大震災が発生し、被災地の皆さんはもちろん、日本中が不安と悲しみに見舞われました。そんな中、「絆」という名の下、全国で復興支援が始まり、ライオンズもいち早く募金活動や支援活動に取り組みました。337-E地区では、環境汚染の浄化目的で、EMぼかしの支援物資送付も行いました。これからも、優しい愛を持って、手を差し延べていかなければならない、と考えております。ガバナー・テーマに「慈愛、情熱そして実践」を掲げました。このテーマに沿って1年間がんばります。

■国際理事会アポインティー
山田實紘
（岐阜県・美濃加茂）

国興しはライオンズから

国際理事会に限らず国際大会においても常に、今度はどこからどのような人が国際会長に選出されるのだろう、どの国がどの程度結束して候補者を擁立してくるだろう等々の話題で持ち切りである。自分たちのリーダーに対する関心の高さがうかがえる。

しかし日本では、今年度はアメリカの番か否か程度でリーダーを決定する会長選には全く興味は示さず、専らの関心事は日本の八複合地区のどこから誰を国際理事として出すのか、といったレベルであった。日本を国際協会の中の330〜337複合地区という捉え方ではなく、日本ライオンズというまとまりで認識しており、これこそ日本人独特の島国的感覚の表れであったと言えよう。

今回釜山で開催される第95回国際大会には、慣例的にはアメリカの順番であるにもかかわらず世界各地から8人もの国際第2副会長候補者が名を連ねる。アメリカからは2人が立候補し、アメリカ以外からの3〜4人は来年のドイツ・ハンブルグ国際大会において選任されることを見据え、予備選挙のつもりで名乗りを上げるようである。売名のために立候補を繰り返す候補者もいる。何のしがらみもなく、国際会則に抵触しなければオーケーという自由さが彼らのライオンズ・スピリットなのかもしれない。

ライオンズが日本に結成されてから60年間、日本からはたった2人の国際執行役員しか輩出していないため、選挙に向けた作戦すら持たないのが現状であろう。日本人は規律を順守し、フライングしてまで選挙運動はしない。粛々と事を進めることこそ日本文化であり、日本の美意識なのだと考えがちであるが、早い者勝ち、強い者勝ちという世界の常道には、日本人の謙虚さや、沈黙は金という日本古来の考えにのっとったやり方は通用しない。そもそも日本人は国際選挙などほとんど経験したことがなく、政治の世界に目を向けても外交面の弱さが如実に表れている。２００年間鎖国を続けた日本人固有の感覚は、ＤＮＡに深く刻み込まれているのかもしれない。

海外からは、日本が国際会長を出したいのなら、なぜ国を挙げてもっと積極的に運動しないのかと問われる。一部の親日家を除き、何とか日本から国際会長を輩出しなければ、という国際協会執行部の考え方も時を経るごとに変化してきている。日本のＬＣＩＦへの貢献度がどれほど高くても、それはそれ、サンキューの一言で片付けられてしまうのが現実である。

ならば日本のアイデンティティーはどこにあるのか。政治も、経済までもが新興国に先を越された現実を打破すべく、ライオンズのバッジをつけた我々日本人が、今こそこぞって奮起しナンバーワンを取り戻すべきである。今、私は２０１３年の第96回ハンブルグ国際大会での国際第2副会長候補者として、人生のすべてをこの仕事に賭けようと決意している。日本ライオンズに新風を吹き込み、誇りを持って世界のライオンズを日本が牽引する。日本のライオンズ・メンバーが元気でがんばることが日本力の再生につながる。国興しはライオンズから。これが私に課せられた使命と考える。

ライオンズニュースカセット

NEWS CASSETTE

タム国際会長を迎えて60周年を祝った東京ライオンズクラブ

5月31日、ウィンクン・タム国際会長を迎えて東京ライオンズクラブ（山本和夫会長／43人）の結成60周年式典が開かれた。会場となった東京・丸の内のパレスホテル東京（旧ホテルテート）は、1952年3月21日にチャーター・ナイトが開かれた日本ライオンズ発祥の地。建て替えを終えて2週間前にグランドオープンしたばかりの真新しい会場に600人が集った。山本会長は「戦後の高度経済成長の時代から少子高齢化に象徴される低成長時代へ移行するに伴い、ライオンズの活力にも衰えが見えています。しかし東日本大震災という未曽有の災害を目の当たりにして、相互理解と友愛というライオニズムの精神が我が国では『絆』や『お互い様』という言葉となり『共助』の広がりとなりました。この変化を再生の時として、活力と魅力ある東京ライオンズクラブの歴史と伝統を守っていきたいと考えています」と100周年に向けた抱負を込めてあいさつ。タム国際会長は祝辞の中で「東京ライオンズクラブに始まった日本のライオンズは60年間、会員の輪を広げ、人々に大きな変化をもたらす地域奉仕に力を尽くしてこられました。皆さんは奉仕のためによく働く両手と、人を思いやる大きな心を持っておられます。世界的な経済不況を始め数々の困難の中でも、ライオンズがチームとして共に奉仕することが出来るのは、私たちがライオンズの力を信じるからです」と述べた。

発表された記念事業の一つは、スポンサー・クラブであるフィリピンのマニラ・ホスト・ライオンズクラブ（キャンディ・G・プア会長）への恩返しとして実施

したパローラ地区における貧困家庭児童向け教育施設の建設で、これに対しアルフレッド・S・リム市長から贈られたマニラ名誉市民の盾が、プア会長から山本会長へ手渡された。記念事業は他に100％MJF献金（はしか指定）、東京駅雄勝石壁画プロジェクトへの協力、東京青年会議所（JC）のOBで構成する東京キング ライオンズクラブ結成の計4事業。東京ライオンズクラブがスポンサーとなる新クラブ結成は半世紀ぶり、20クラブ目で、山本会長は「明日に向けて全国の先駆けとなるクラブになってほしい」と激励した。

タム国際会長から直接表彰を受けたアワード贈呈式

5月31日、東京・丸の内のパレスホテルにおいて、ウィンクン・タム国際会長による国際会長賞、ライオン表彰アワードの贈呈式が行われた。国際会長賞はガバナー協議会議長と地区ガバナーら56人に授与。ライオン表彰アワードは昨年度から新設され、大災害における救援などに顕著な活動をした個人に対し、年間75人を上限に贈られるもので、東日本大震災の支援活動などに尽力した会員14人にタム国際会長からメダルが贈呈された。

300人が参加した330-A地区の船上合同入会式

330-A地区（東京／大石誠ガバナー）は5月11日、横浜港をクルージングするレストラン船「ロイヤルウイング」（2876トン）を借り切って、「会員増強の夕べ」を開催した。これは「楽しくなければ会員増強じゃない」を合い言葉に会員増強を推進してきた地区会員増強委員会が企画、実施したもの。当日は、大石地区ガバナー、金子正之330複合地区GMTコーディネーター、櫻井慧子330-C地区GMTコーディネーターを始め300人を超える会員、家族、入会希望者が乗船。そのうち約40人が今期入会した新会員で、船内に設けられた式典会場において「合同入会式」が開かれて、多くのメンバーから祝福を受けた。また会員増強数ベストテンのクラブ会長、個人がそれぞれ招待され、式典会場で大石ガバナーから表彰された。祝宴は船内の各デッキにある宴会場に分かれて開かれ、横浜ならではのおいしい中国料理を楽しんだ約2時間のクルージングは、大好評のうちに終了した。橋口啓一地区会員増強委員長は、『「こんなに楽しいリラックス出来る行事に参加したのは初めて。ぜひ来年度も実施してほしい」』という声も多く、誠に楽しい夕べとなった。特筆すべきはメンバーの誘いで多くの入会希望者が参加し、ライオンズの親睦の輪と絆を十分に感じて頂いて、入会の動機づけとなったことである」と、大きな手応えを感じていた。

サンフランシスコ国際理事会で承認されたLCIF交付金

4月のサンフランシスコ国際理事会で、一般援助交付金、国際援助交付金（IAG）及び四大交付金、合計92件、451万9644ドルが承認された。四大交付金ではライオンズクエストと国連薬物犯罪事務所（UNODC）のパートナーシップを支援するために10万ドルの交付を承認。この連携によって、中央アジアや南西ヨーロッパで実施され、セルビア・モンテネグロでも試験運用が予定されている。UNODCの家族に基盤を置いたライフスキル・プログラムと、ライオンズクエスト・プログラムが結合される。日本に交付されたのは5件12万5281ドル。申請地区と事業内容は以下の通り（IAGの表記があるもの以外は一般援助交付金）。

▼334-A地区＝ベトナムの病院に産科と婦人科の備品1万5585ドル▼334-A地区＝虐待や育児放棄を受けた児童のための施設を改修2万7273ドル▼336-C地区＝重度身体障害者施設に車両を購入1万8千ドル▼336-C地区＝広島県アイバンクに角膜摘出機器を設置4万7923ドル▼337-A地区＝フィリピンの消防車修繕（IAG）1万6500ドル

全交付金リストはLCIF公式ウェブサイト（www.lcif.org）に掲載されている。

会議録

第４回複合地区国際大会委員長連絡会議（４月23日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：今井三和、石川信義、奥山紘一、石井博之、佐藤義彦、三谷智省、杉田貞治各委員長、高木次雄委員長代理、秦従道国際理事、武久一郎２０１２～14年国際理事候補者、山地章靖国際理事候補者支援委員長、川辺信郎国際理事候補者支援委員会事務局長）

第Ⅰ部：委員長協議事項Ａ第95回国際大会①大会登録者及び代議員予備登録者数②インターナショナル・パレード③日本ライオンズ代議員会・ジャパン・レセプション④地区ガバナー・エレクト・セミナー参加ツアー　第Ⅱ部：複合地区公認ツアー・コーディネーターとの協議Ｂ釜山国際大会日程及び最新情報①大会最新日程及び最新情報②代議員資格証明と投票Ｃ第51回東洋・東南アジア・フォーラム（日本・福岡市）Ｄその他

第９回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（４月25日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：小峰理孝、井ノ浦義明、宮田謙、萩原光義、岡本正治、新宅元之、迫越正彦、椿幸雄各議長、山浦晟暉、高田順一、秦従道各国際理事、山田實紘国際理事会アポインティー）

第Ⅰ部：国際役員との懇談①春季サンフランシスコ国際理事会報告②ＧＭＴ／ＧＬＴ複合地区及び地区コーディネーターの任命及び変更について③タイ洪水義援金プロジェクトの進捗状況　第Ⅱ部：議長協議①２０１１・12年度全日本会員増強アワードの表彰方法②ＹＣＥ（ＹＥ）に関する実態調査のお願い（334複合地区提案）③333複合地区東日本大震災義援金関連の報告④第３回複合地区ＩＴ委員長（ウェブ）連絡会議の開催⑤講師育成研究会（ＦＤＩ）⑥各委員会・会議報告の確認⑦第51回ＯＳＥＡＬフォーラム（福岡）支援拠出金内訳表⑧その他　第Ⅲ部：日本ライオンズ連絡事務所運営関係①前回確認事項②財務報告　第Ⅳ部：その他

第９回東日本大震災復興支援対策本部会議（４月25日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：山浦晟暉、高田順一、秦従道各国際理事、小峰理孝、井ノ浦義明、宮田謙、萩原光義、岡本正治、新宅元之、迫越正彦、椿幸雄各議長、高橋晴彦、中嶋慶次、久保田善九郎、野川亘各地区ガバナー、外崎勲第１副地区ガバナー、山田實紘〈国際理事会アポインティー〉、吉田宗一郎〈監査役〉各オブザーバー）

①ＬＣＩＦ理事会報告②332複合地区からの申請③今後の支援計画について④その他

第10回ライオン誌日本語版委員会（５月８日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：山浦晟暉、高田順一両国際理事、山田實紘国際理事会アポインティー、宇田川雄弘、後藤忍、種市一二、高濱正敏、矢口武克、竹本實生、小田邦雄、澁田繁晴各委員、小峰理孝議長、荘英隆、辰巳博昭〈オンライン〉、小柴登司〈オンライン〉各ＩＴアドバイザー）

①国際理事会ＰＲ委員会ライオン誌関連事項②ライオン誌日本語版事務所の運営③２０１２年５月号（10万３１００部発行）出来④６月号記事内容の確認⑤７月号以降台割（案）⑥その他

第５回複合地区国際大会委員長連絡会議（５月21日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：今井三和、石川信義、奥山紘一、高田浩、石井博之、佐藤義彦、三谷智省、杉田貞治各委員長、川辺信郎国際理事候補者支援委員会事務局長）

第Ⅰ部：委員長協議事項①釜山国際大会登録者及び代議員予備登録者数②インターナショナル・パレード③日本ライオンズ代議員会・ジャパン・レセプション（336複合地区担当）④地区ガバナー・エレクト・セミナー参加ツアー　第Ⅱ部：複合地区公認ツアー・コーディネーターとの協議①大会全般の確認事項

新結成／クラブ名称変更

■新結成クラブ

東京ゴルフ（安本昌煥会長）▼４月23日結成▼スポンサー／東京赤坂

神奈川県・新横浜（小柳正夫会長）▼４月24日結成▼スポンサー／横浜金港

新潟県・湯沢（坂西輝男会長）▼５月14日結成▼スポンサー／魚沼

■クラブ名称変更

東京都・国立→東京国立

訃報

■元国際役員

ライオン榎本巳之助（福岡県・北九州小倉）

５月19日死去、88歳。04年度337・Ａ地区ガバナー。

■献眼

４月＝ライオン原田博（静岡県・御殿場）

7. 世界保健機関とライオンズクラブ国際協会との間で取り交わされた覚書に記述される糖尿病性眼病取り組み活動を支援するため、40万ドルの視力ファースト交付金を承認。
8. 世界保健機関との技術サービス契約をサポートするため、補足予算として13万ドルの資金提供を承認。
9. 中国身体障害者連合会名誉会長の鄧樸方(Deng Pufang)氏を2011-12年度人道主義大賞受賞者として指名。
10. 人道主義大賞受賞者への交付額を20万ドルから25万ドルに増額。
11. 総額4,519,644ドルとなる合計92件の一般援助交付金、国際援助交付金、四大交付金申請を承認。
12. 2件の交付金申請を保留し、1件の交付金申請を否決。
13. 韓国での事業のために以前承認された交付金を、同国のWeesang病院への超音波機器購入事業に配分し直すことを承認。
14. ライオンズクラブ国際協会と国連薬物犯罪事務所との間で取り交わされた覚書に記述されるライオンズクエストの活動を支援するため、理事会主導による四大交付金10万ドルを承認。
15. 四つの再建／復興事業を支援するため、日本大震災・津波被災地支援用資金から318万ドルを充てることを承認。
16. インドにおいて「Section 25」法人を設立するため、コンサルタントを雇用することを承認すると共に、6月のLCIF理事会会議で「Section 25」法人設立にかかわる文書を更に検討することを要請。
17. 証券の寄贈を円滑に処理出来るようにするため、スコットトレード証券に設けられている財団の口座の署名権限保持者を更新。
18. LCIF複合地区及び地区コーディネーターが新たに任命されることに備え、これらの役職に関して理事会方針書第16章の文言を更新。

リーダーシップ委員会

1. 2012-13年度から、「芽生えるライオンズ・リーダーシップ研究会」、「上位ライオンズ・リーダーシップ研究会」、「講師育成研究会」への参加費として95ドルに相当する金額の登録料金を設定。
2. 地区ガバナー・エレクト研修プログラム案(資金要請中)実施を承認。
3. 地区ガバナー・エレクトが地区ガバナー・エレクト・セミナー出席にかかわる経費に対してライオンズクラブ国際協会から支払いを受ける対象となるには、ライオンズクラブ国際協会後援の地区ガバナー・エレクト研修事項をすべて完了することを必須とした。
4. 推薦証明及び資格証明を受けた国際役員候補者と国際理事会メンバーが国際レベルのGMT及びGLTリーダー(会則地域リーダー、エリアリーダー、特別エリア・アドバイザー)となるのを禁止するため、資格要件を改定。また、GMT及びGLTリーダーは、GMTまたはGLTの任務遂行に必要となる時間、活動、労力を取られるような他のいかなる役職をも兼任してはならない。
5. 理事会方針書第14章D項11.a.の7〜8行目にある「セミナー開催地への移動途上、もしくは」という語句を削除。(地区ガバナー・エレクト・セミナーにおける講師の休息日にかかわる事項)

会員増強委員会

1. 終身会員に関する方針全体を最低10年ごとに見直す必要があると決定。
2. ジンバブエのライオンズが今後2年間で会費を全額支払うクラブとなるようにするべく、措置を決定。これによりジンバブエの有資格のクラブに対しては、2012年7月1日に始まり、2014年6月30日に終了する今後2年間、年間国際会費の半額免除の調整が行われる。2014年6月30日の時点でジンバブエのライオンズは、通常額の国際会費支払いが求められる。
3. 理事会方針書に、仏領ギアナ、キルギス共和国、中国・浙江、ラオス、ガンビア共和国、ギニアビサウ共和国、メイヨット、シントマールテン(オランダ領アンティル諸島)を追記。明瞭にすることを目的に、Hellenic Republic(ギリシャ共和国の正式国名)との表記の後に「ギリシャ」を括弧に入れて併記することを提言。
4. 理事会方針書を改定し、レオ・ライオンがレオとしての奉仕年数をライオンとしての経歴に加えることが出来るようにするために提出するべき正しい書式を表示。つまり、レオ変換証明書とレオ奉仕歴報告書(LL-2)がライオンズクラブ国際協会に提出されなければならない。
5. 理事会方針書を改定し、ライオンズに入会するレオがレオ変換入会費免除及び会費割引を受けるには、レオとして最低1年と1日の在籍を要する旨を表示。
6. 最新のライオンズ国であるタジキスタン共和国を含めるべく、理事会方針書を改訂。これにより、ライオンズの奉仕が可能な正式なライオンズ国の数は207となる。
7. チャーター・モナークとモナーク・マイルストーン・シェブロンの現在の配布方法を反映させるべく、理事会方針書を改訂。
8. 会員キー賞及びメダルの現在の配布方法を反映させるべく、理事会方針書を改訂。
9. 理事会方針書を改定し、地区エクステンション委員長賞の名称と受賞対象者の肩書を変更。この変更が必要となったのは、地区エクステンション委員長が公式の役職ではなくなり、地区GMTコーディネーターが新クラブ結成に責任を持つことになったため。

PR委員会

1. 複合地区がPR補助金を受けるためには、10%のマッチング資金拠出を条件とすることを決定。
2. 国際交換ピン・コンテストを廃止。
3. 国際フレンドシップバナー・コンテストを廃止。
4. 国際ウェブサイト・コンテストの応募にウェブサイトを印刷したものを提出するという規定を削除。
5. インドのライオンズクラブの会員が個別に、ヒンディ語または英語のいずれかの言語によるライオン誌インド版を選択出来るよう決定。

奉仕事業委員会

1. 2010-11年度トップテン・ユースキャンプ及び交換委員長賞を選定。
2. レオ奉仕年数転換プログラムに関して、理事会方針書の文言を明確化。レオとしての奉仕年数がライオンズクラブの会員歴の一部として認められるためには、現レオ及び元レオが少なくとも1年と1日レオとして在籍していなければならないとする資格要件を付加。

※上記決議事項のいずれかに関する詳細は、国際協会公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org)でご覧頂くか、国際本部の担当各部までEメールでお問い合わせください。

国際理事会決議事項要約

アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ
2012年4月13日～17日

会則及び付則委員会

1. 会則及び付則委員会の委員長、または委員長が任務を遂行出来ない場合には会則及び付則委員会の副委員長が国際会長及び法律部長兼幹事との協議の上301-A1地区（フィリピン）に関する事項を処理出来るよう、権限を付与。
2. インドにおける「Section 25」法人設立を進めると同時に、支所設立申請に対する承認をインドの必要な政府当局から確保するための雇用を承認。
3. 法人組織及びデジタルメディアに関する権限に関連する規定等、理事会方針書第15章に記載されている登録商標の方針を改定。
4. 理事会方針書第3章及び第15章の、電子手段による理事会関連資料の配布と理事会投票に関連する箇所を改定。
5. ゾーン・チェアパーソンとリジョン・チェアパーソンの任命に関して、理事会方針書に記載されている標準版地区付則第3条を改正。
6. 理事会方針書第7章と第15章におけるタイプミスを訂正すると共に不要な文言を削除。
7. 国際付則に記載されている会員の義務と権利及び特権を記した表を取り除くという国際付則第11条7項改正案を2012年国際大会に提出し、本改正案が可決されることを条件に、これらの表を理事会方針書の会員種別に関する記載箇所に移すことを承認。

大会委員会

1. 2011年6月／7月の大会委員会報告書にあった決議事項1を撤回。釜山国際大会の3万人を超える支払済み登録1件につき25㌦のリベートを、支払い済みの登録件数に関する最終報告書に基づき韓国の三つの複合地区に対して案分される形で承認。

地区及びクラブ･サービス委員会

1. 実在しないため321-C2地区の12クラブを解散。
2. クラブ副会長に逐次情報が伝わるようにするため、クラブ会長に対して一斉に送られる通信物のうち適切かつ有用なものについては、国際協会に記録されているクラブ副会長に写しを入れることを決定。副会長を記録するためのプロセスは来年度早期に設定予定。
3. 暫定地区から推薦された地区ガバナー・エレクトを承認。
4. 330-A地区（東京）の今井三和元地区ガバナーを、モンゴルを担当する2012-13年度コーディネーター･ライオンとして任命。
5. 16複合地区（アメリカ・ニュージャージー州）からの地区再編成案を承認。この変更は2014年国際大会閉会時に発効。
6. 324C、324D、324Eをそれぞれ316、317、318という複合地区名及び地区名に変更。
7. ゾーン・チェアパーソンとリジョン・チェアパーソンに逐次情報が伝わるようにするため、地区ガバナー・チームに対して一斉に送られる通信物のうち適切かつ有用なものについては、国際協会に記録されている地区のゾーン及びリジョン・チェアパーソンにも写しを入れることを決定。
8. クラブが重大な違反を行い、そのクラブを解散させることが協会のために最善である場合には、適宜解散処分を行えるよう、理事会方針書の解散方針を改正。
9. 地区ガバナーがクラブ訪問を地区キャビネットの構成員に委任しやすくするため、地区ガバナー経費支払いに関する監査規定を改定。
10. 地区再編成に必要な条件を明確にすると共に、地区再編成案を提出する時には地区再編成案が承認された大会の証明済み議事録を1部添えることを義務付けるため、地区再編成に関する方針を改訂。
11. 暫定地区が理事会に地区ガバナー・エレクトを推薦する手続きを明確にするため、方針を改訂。

財務及び本部運営委員会

1. わずかな赤字が見込まれる2011-12年度収支予想を承認。しかしながら、この赤字を補填するための現金が銀行には十分ある。
2. 2012-13年度10月／11月理事会会議の会期日数を1日増やすことを承認。
3. ジンバブエのクラブのため、一時的な活動停止方針を承認。この方針は、会員1人当たり10㌦または1クラブ当たり500㌦のいずれか少ない額を超える未納残高に基づくものとなる。本方針は2012年7月1日から2014年7月1日まで有効。
4. 2012年6月26日をもって、理事会方針書第9章C項4からC項10を全文削除し、差し替えることを承認。主な変更は下記の通り。
   - 自家用車使用に対する増額 – 1㌔につき25㌣（1㍄につき41㌣）が払い戻される。
   - 宿泊費増額 – 1泊75㌦を上限に、実費のみが払い戻される。
   - 食費増額 – 25㌦を上限に、実費のみが支払われる。明細の記された領収書原本が、旅費請求書と一緒に提出されなければならない。
   - 事務経費支払いの単純化 – 事務経費として1カ月につき20㌦と1ライオンズクラブ当たり1㌦を請求出来る。
5. 執行役員、スピーカー任務及び地区内予算における自家用車使用に対する払い戻しを、1㌔につき25㌣（1㍄につき41㌣）に増額。

LCIF

1. 承認可能な年間視力ファースト交付金限度額を1,300万㌦に増額。
2. 緊急援助交付金の基準を改定し、災害が発生した地区は一つの災害につき1件の交付金を申請出来るといった内容を付加。
3. 国際援助交付金の基準を改定し、事業がライオンズの深い関与とアイデンティティーを明確に示すものでなければならないと共に、物品運搬に対してのみの申請は考慮の対象とならないとする内容を付加。
4. LCIF運営方針書を次の通り改定。LCIFステアリング委員会の役割及び責任付加。LCIFステアリング委員会の委員長及び副委員長の選任に関する文言更新。ライオンズクエスト米国運営委員会に言及する箇所削除。
5. 「ワンショット、ワンライフ（1回の予防接種が救う一つの命）：ライオンズはしかイニシアチブ」プログラムへの寄付に対する表彰を承認。
6. 5万㌦から9万㌦の寄付に対する累進メルビン・ジョーンズ・フェロー・ピンの新しいデザインを承認。

■332-A地区（青森県）

地域の取り組みを考える災害ボランティア・サミット

332・A地区（青森／中居雅博地区ガバナー）が主催する「ボランティア・サミット2012」が、5月3日に青森県八戸市の八戸市公会堂で開かれ、市民約500人が参加した。このサミットは、「被災状況はよく知られているが、ボランティアの活動についてはあまり知られていない。異なる立場で活動する皆さんに事例を報告してもらい、これからのボランティア活動を市民と共に考えたい」という中居ガバナーの発案で実現。行政から小林眞八戸市長、スポーツ界から元サッカー日本代表の中西永輔さん、学生ボランティアの塩田朋陽さん、主婦ボランティアの大畑千恵子さん、ライオンズから谷川政人（青森県・弘前東奥ライオンズクラブ）がそれぞれの体験を語り、意見を交換した。

活動事例の発表では、ライオン谷川が緊急支援に取り組む各地のクラブが手を結んだ「緊急災害支援ネットワーク」の「サークル米」プロジェクトなどを報告。大阪大学災害ボランティア・グループ代表で、岩手県野田村に住み支援を続ける塩田さんは「被災地のニーズを聞かれても村の人もよく分からない。ボランティアが一緒になってニーズを探している」と述べる一方、自立を促しつつどこまで支援するかの難しさを指摘した。サッカー教室を通じて被災地の人たちと触れ合う中西さんは、「子どもたちには自分で考え、行動して未来に向かってほしい」と話した。

当日はあいにく大雨に見舞われたが、会場の外では起震車による地震体験も行われた

パネル・ディスカッションでは、被災者を支援する無料バザーのプロジェクトに取り組んだ大畑さんが「お金も人手もなく、アイデアを絞って進むしかなかったが、行政や他の団体と協力出来れば、より有益な活動が出来たはず」と連携の必要性を訴えた他、「八戸の『えんぶり』のような地域の伝統行事や祭にはタテにもヨコにも強いつながりがあるので、震災時に役立つのでは」（塩田）、「インターネットを通じた情報発信が大きな支援の動きを生んだ。これを生かしたネットワークの構築が急務」（小林）など、今後の災害にいかに備え行動するか、熱心に意見が交わされた。

（取材／河村智子）

■334-E地区（長野県）

ライオンズクラブと行政の連携を強化する協定に調印

334・E地区（宮下満栄地区ガバナー）と長野県の連携に関する包括協定締結の調印式が5月21日、長野県庁において行われ、宮下ガバナー、阿部守一県知事がそれぞれ締結書に調印した。県はこれまで7企業、1国立大学と協定を結んでいるが、民間ボランティア組織との協定締結は初めてのことだ。

宮下ガバナーは昨年、地区の次期ゾーン・チェアパーソン・セミナー講師を務めた山田實紘元国際理事から「ライオンズの活動は市民に理解されていない。行政と手を結ぶことで成果が高まり、認知度も向上する」と示唆を受けたのを機に、県との連携協定を模索。昨年12月の県知事表敬訪問の際、阿部知事からも「ライオンズともっと協力していきたい」と話があり、連携に向けた具体的な話し合いを進めて、この日の調印を迎えた。

協定では、⑴児童及び青少年の健全育成、⑵環境の保全、⑶健康の増進、⑷災害支援、⑸その他地域社会の向上に関する事項で連携・協力することとしている。具体的には、①プロスポーツチームとの連携（スポーツ教室、観戦応援イベントなど）、②観光地の美化やボランティアガイド活動（清掃や花を植える活動、児童・生徒の歴史文化・自然の学習など）、③薬物乱用防止、非行少年の立ち直り支援（薬物乱用防止教室の開催、ボランティア活動による社会参加など）の三つの事業への取り組みを掲げる。連携の窓口は地区キャビネット事務局と県企画部県民協働・NPO課が担当し、県はライオンズクラブが活動しやすいように情報の提供、実施地域や関係団体とのコーディネートに当たる。

調印式の模様は地元テレビ、新聞各社多数が取材

調印を終えた阿部知事は「（環境美化や薬物乱用防止などの）課題に向き合うライオンズクラブの経験と力には大変大きいものがある。これまで以上に密に連携を取っていきたい」と述べ、宮下ガバナーは「この連携を生かして、県民の暮らしをより良いものにしていきたい」と、地域における更なる奉仕活動の充実に意欲を見せた。

（取材／河村智子）

大分坂ノ市ライオンズクラブ、大分坂ノ市レオクラブ

お年寄りと共に歴史ある門前市を楽しむ

大分市坂ノ市の萬弘寺は585年創建、聖徳太子が父の用明天皇の菩提を弔うために大伽藍を建立したと伝わる歴史ある寺。その門前で毎年5月18日から1週間、「萬弘寺の市」が開かれる。かつて海の幸と山の幸を持ち寄り取り引きした名残なのだろう、夜明け前の暗闇の中で「かえんかえ〜」の呼び声と共に物々交換を行う珍しい行事を今に伝えている。市の期間中には老若男女の芸達者たちが競って披露する歌や踊りのステージが盛りだくさん。1400年余りの伝統ある市を、町のみんなが大切に守り継いでいる。

そんな萬弘寺の市に特別養護老人ホーム百華苑のお年寄りを招くアクティビティを、大分坂ノ市ライオンズクラブ（大平修平会長／20人）は結成10年目から40年にわたって続けてきた。メンバーが車いすを押して萬弘寺に参拝し、お年寄りににぎやかな市を楽しんでもらおうという活動で、5年前からは大分坂ノ市レオクラブの高校生たちも加わっている。

段差を下りる時には後ろ向き、など施設職員から注意事項の説明を受けたレオたちは、慎重に車いすを操っていた

今年は5月19日、車いすのお年寄り18人を案内。最高齢100歳に付き添ったレオはかなり緊張気味だったが「とてもお若くて、肌もツヤツヤなのでびっくり」。はぐれるのが不安なのか、レオの手をしっかりと握り締めるおばあちゃんの姿も。施設では全員にお賽銭とお小遣いを用意していて、付き添いのライオンやレオが預かって買い物を楽しんでもらう。お土産用にと飴を買ったり、鮎のつかみ取りに水しぶきを上げる子どもたちの姿に大笑いしたり。童心に返ったのか輪投げをしたいというお年寄りもいて、上手く投げられないおばあちゃんに代わってレオが挑戦したものの、あえなく失敗。見かねた店主がおまけしてくれたかわいい貯金箱が、おばあちゃんの小さな両手に大切そうに握られていた。高校3年生のレオ、髙柳日出明さんは「お年寄りの声は小さくて言葉を聞き取るのが大変だった。車いすを押すのは初めてで難しかったけれど、楽しんでもらえてよかった」と話していた。

5年前に結成された大分坂ノ市レオクラブは、県立大分東高校生徒会のボランティア委員会の生徒51人をメンバーに構成され、ライオンズの支援を受けながら他にも道路沿いの花壇の植え付けなどを行っている。（取材／河村智子）

岩手県・陸前高田ライオンズクラブ

高田大隈つどいの丘商店街グランドオープン

6月2日、陸前高田市大隈地区に、仮設商店街がオープンした。名付けて「高田大隈つどいの丘商店街」。これまでライオンズで支援してきた屋台村や仮設飲食店街と同様、建屋は中小企業基盤整備機構による無償貸与で、陸前高田ライオンズクラブ（熊谷又吉会長／69人）が、LCIFから約1100万円の交付を受け備品などを支援した。また商店街の敷地は傾斜地で、安全確保のためフェンスを巡らせる必要があり、その費用約250万円は332・B地区（岩手／高橋晴彦地区ガバナー）に寄せられた義援金の中から支援を受けた。

この商店街構想は昨年5月、建設予定地の地権者から承諾を得てスタート。が、その場所は段々畑と傾斜地に挟まれた谷になっていたため、埋立などの整地に時間を要し、更に建屋の完成も遅れて1年1カ月がかかってしまった。市民にとっては待ちに待ったオープンであり、特に陸前高田では震災以来初めてとなる大型の仮設商店街とあって、オープニング・イベントには子どもからお年寄りまで、多くの市民が詰め掛けた。

商店街は2階建てプレハブ2棟と、平屋1棟から成り、市民にはおなじみの商店や飲食店、塾など14事業所が入居。また復興支援団体や子育て支援団体、陸前高田まちづくり協働センターなども事務所を設置しており、その名の通り多くの人が集う場所になることが期待される。オープニング・セレモニーに駆け付けた高橋ガバナーも、「商店街の北側にある『つどいの丘』はセーブ・ザ・チルドレン子どもまちづくりクラブがデザインしたそうですが、陸前高田の未来を担う子どもたちがかかわり、オープン後も子どもが集まれる場所というのがすばらしい」

と語り、つどいの丘商店街のオープンを祝っていた。 （取材／鈴木秀晃）

宮城県・石巻中央ライオンズクラブ

石巻市にコインランドリー兼地域集会場が完成

5月20日、石巻市の大街道地区に、コインランドリーを併設した地域集会場が完成した。昨年6月、当時の河合悦子330・A地区ガバナーから332・C地区（宮城）に支援の申し出があり、話し合いの中でコインランドリーの設置案が出てきた。そこで、石巻中央ライオンズクラブ（佐々木喜藏会長／9人）が受け入れクラブとなり地域でのニーズ調査を実施したところ、8割の人が必要と答えると共に、集会場の要望が多く出され、今回の企画がスタートした。

330・A地区（東京）ではこれを受け、コインランドリーの機械購入費として1千万円を寄託。また、332・C地区から東日本大震災復興支援対策本部に、地域集会場を併設した建屋の建設費1500万円を申請し、国際理事会の承認を経て、LCIF資金が交付された。

同じ敷地には333・E地区（茨城）が贈ったトレーラーハウスや、東京八王子高尾ライオンズクラブが寄贈したフォークリフトもあり、ライオンズによる復興支援の拠点となっている。事業の中心となった阿部浩ゾーン・チェアパーソン（石巻中央ライオンズクラブ）は、

「収益についてはLCIF献金や社協など地域福祉への寄付、また設備の修繕積立も視野に入れて考え、今後、地区役員と協議の上、施設の運営管理方法を決定します。集会場は自治会やPTA等といったさまざまな団体、個人に利用してもらいながら、ライオンズクラブ・ボランティアセンターとして地域とクラブを結ぶ場所としたい」

と語り、地域のニーズを掘り起こし、必要な人に必要な支援が届くよう、ボランティアとの情報をつなぐ役割を担いたいとしていた。（取材／鈴木秀晃）

オープン当日、各地のライオンズから寄せられた支援米を地域の方たちに配る河合前地区ガバナー（左）

兵庫県・西宮ホワイト、明石魚住ライオンズクラブ

岩手県沿岸部の被災地に桜を植樹

ゴールデンウィーク中の5月3日、4日の両日、西宮ホワイトライオンズクラブ（田中睦子会長／18人）の会員5人が、岩手県沿岸部の大船渡市、釜石市、大槌町を訪ね、桜の苗木を植樹した。

きっかけは、1年前のゴールデンウィークに、全国のライオンズ会員有志が参加して、大槌町で実施された炊き出し奉仕だった。ソーシャル・メディアを通じて呼び掛けられたこの活動に、同クラブのライオン畑山裕子（現幹事）が参加。ライオン畑山は大槌へ向かう車中、遠野バイパス沿いで見た満開の桜並木に目を奪われた。が、数十分後には壊滅的被害を受けた被災地が目に飛び込んできた。

「その時の情景は今思い出しても涙がこぼれます。大槌から戻り、微力な私たちに何が出来るかと考えた時、遠野の桜並木が浮かびました」（ライオン畑山）

そこで、クラブが10周年を迎える5月に、記念事業として被災地に桜を植えることを提案。理事会の承認を得ると共に、運良く森林生態・桜研究家の伊藤孝美氏から苗木の提供を受けることが出来、事業に弾みがついた。

植樹場所の選定は、地区復興支援特別委員長で、前年の炊き出しで中心となっていたライオン橋本維久夫（明石魚住ライオンズクラブ）に依頼。ライオン橋本が被災地支援を通じて知り合った遠野まごころネットから2市1町の4地区を紹介され、植樹が実現した。

この2日間は大雨暴風警報が発令される悪天候だったが、会員たちはそれをものともせず、地元の方たちの協力を得て約80本を植樹。田中会長は、

「被災された皆様が、桜で癒やされて頂ければとの思いで植樹させて頂きました。1人では何も出来ませんが、苗木を運んでくださった明石魚住ライオンズクラブの皆さんや地元の方々と一緒に植樹させて頂き感謝しております」

と語り、桜が咲く頃に再訪することを誓っていた。

（取材／鈴木秀晃）

埼玉県・川越初雁ライオンズクラブ

福島産農産物直売支援

川越初雁ライオンズクラブ（大木忠洋会長／46人）は10月29、30日の2日間にわたり、川越市運動公園で開催された川越市産業博覧会で、友好クラブである福島県・棚倉ライオンズクラブと連携し、東日本大震災の原発事故により風評被害を受けている福島県産農産物を直売。米や野菜、果物、キノコ、花、地酒等約70万円を売り上げ、全額を棚倉ライオンズクラブを通じて震災被災者に寄贈した。

当日は来場者の方々に、目、鼻、肌、舌で福島を感じてもらおうと、米、リンゴ、ナシの試食コーナーを設けた。すると不安そうな表情は笑顔に変わり、「おいしい！」という声が広がっていった。

企画段階では野菜類が特に風評被害で売れないのではと思っていたが、初日に完売、翌日分を緊急手配するといううれしい悲鳴となった。

両日とも2クラブのメンバー33人が2万5千人を超える来場者に対して、風評被害の悲惨な状況や震災の被災状況を訴えた。棚倉ライオンズクラブメンバーの体験から出る言葉は、人々の心に強く響いたようだ。福島への望郷の思いから野菜を持ちきれないほど買ってくださった方もいた。

釣銭を始め募金も頂いた。準備や活動に流した汗をはるかに超える充実感と奉仕の楽しみを与えてくれたアクティビティとなった。

両クラブとも「この支援事業を一過性のものにしない」と誓い、友好の太い絆を再確認し合った。

（幹事／猪鼻恒夫）

330-A地区第6リジョン（東京都）

復興祈願の宮城県物産展開催

3月11日、330‐A地区第6リジョン（斎藤政明リジョン・チェアパーソン）は上野恩賜公園で、東日本大震災復興祈願「宮城県物産展」を開催した。このアクティビティは3・11で被災されたり、風評被害で売り上げの落ちた方たちの商品、特産品を仕入れ、諸経費を除いた売上金を宮城県白石市及び332‐C地区災害復興本部にドネーションすることを目的としたものだ。

事業資金は第6リジョン、330‐A地区各クラブからの協賛金、メンバーのドネーションなどを元手とした。

白石ライオンズクラブに協力を求め、物品の選定、調達をお願いし、参加商店15店、商品55品目、全3481個を用意した。

当日は暖かな天候に恵まれ、被災地のライオンも駆けつけ、また産地の販売店の方々もお手伝いくださった。予定より1時間半早い朝9時にスタートし、やはり予定よりも1時間早い午後3時に全品完売で終了した。

332‐C及び330‐A地区のメンバー、白石市、地元学校関係、青年会議所、パフォーマーグループ「パラビ・デ・ソウル」の方々、白石市親善大使の山崎バニラ弁護士など多くの方がお手伝いや商品お買い上げに協力くださり、その人数は132人にも上った。観光で来日していてドネーションくださったフィンランド人のご夫妻もいた。

（東京蔵前ライオンズクラブ会長／山田達）

336-D地区第5リジョン第1ゾーン（山口県）
がんばろう日本フェア

東日本大震災から1年目の3月11日、第1リジョン（鳴貝久ゾーン・チェアパーソン）の9クラブ合同で、下松市のザ・モール周南の中央広場において被災地復興支援のバザーを行った。3月3〜18日に開催された、市を挙げての一大プロジェクト「震災を忘れるな　がんばろう日本フェア」への参加出店である。昨年の地区内ゾーン再編成後、初めての合同アクティビティとあって、幹事会で計画を練り、全クラブの意思統一を図って臨んだ。

会場では各クラブが独自のプランを持ち寄り、しし鍋、肉うどん、ふぐ汁、焼きそば等の食品や、遊休品バザー等、さまざまなテントが並んだ。

広場では地元の老若男女が寒さをものともせず、元気な笑顔で、よさこい踊り、太鼓、ロシアの踊り等で色を添えた。消防車や警察車両の展示、AEDの体験コーナーも設置された。

復興祈念式典では地震発生時刻の14時46分に合わせて、市長、主催者、各クラブ会長が、笠戸島家族旅行村に建立された「四季の風鐘」と呼ばれる幸せの鐘を鳴らして鎮魂を祈った。

バザーの収益金は332・B地区（岩手県）のライオンズクラブに託し、復興支援に役立てて頂く。

この事業はクラブ会員同士の結束と信頼を高め、心に残る大切な一日となった。

（新南陽若山ライオンズクラブ／山田圭子）

兵庫県・姫路中央ライオンズクラブ
被災地の柔道少年の笑顔のために

姫路中央ライオンズクラブ（髙尾政秀会長／64人）は青少年育成の一環として、5月3日に兵庫県立武道館で「第6回姫路中央ライオンズクラブ杯中学生柔道大会」を開催した。

今回は東日本大震災支援大会として、被災した子どもたちに「ほほえみを！元気を！」と願い企画。当クラブの新宅元之335複合地区ガバナー協議会議長から宮田謙332複合地区ガバナー協議会議長に依頼し、渡辺正信332・C地区ライオンズクエスト委員長を仲介として宮城県仙台市立中野中学校、また332・D地区の会津喜多方ライオンズクラブ（井上竹司会長）の仲介で福島県喜多方市立第三中学校の、柔道部の生徒と顧問先生を各10人ずつ、5月2〜4日に招待した。

これを今年度のメーン・アクティビティと位置づけし、計画を練った。2日夜には歓迎と激励の夕食会を開催。緊張している生徒にメンバーが一生懸命話し掛けた。そのかいがあり、終宴の頃にはあちらこちらで笑い声が聞こえるようになった。

3日に行われた大会には連休の旅行計画を変更して応援に駆けつけたメンバーもいて、会場は白熱した雰囲気になった。

この柔道大会は関東から沖縄までの強豪校が参加しており、県大会優勝の実績を持った招待両校でも、残念ながら思っていたような成績は収められなかった。しかし、試合後は姫路城を見学してもらったり、メニュー盛りだくさんのバーベキューを堪能してもらい、子どもたちのたくさんの笑顔を見ることが出来た。

招待された生徒は

「今まで柔道の練習をするのが嫌な時もあったが、震災後は体育館が避難所になって、なかなか練習が出来なかったので、今は柔道が出来ることがうれしい。大会に出ることが出来てとてもうれしい」

「とても楽しい時間が過ごせた。すごく空気がおいしかった」

と、澄んだ目を輝かせ笑顔で語ってくれた。これが私たちへの何よりのごほうびである。

（青少年育成委員長／池本史朗）

福島信陵ライオンズクラブ

サテライト校支援事業

1月17、18日、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の影響により、県内外のサテライト校5校（遠くは静岡県三島）で高校生活を送っている富岡高校の生徒たちは、「冬季　富高の集い」を猪苗代町で開催した。半年ぶりに再会した彼らにとって1泊2日は決して十分な時間ではなかっただろうが、コンサートを鑑賞したり、スキーを楽しんだり、恐らく夜はおしゃべりに花を咲かせ、短い時間を精いっぱい満喫していた。

福島信陵ライオンズクラブ（立花恭会長／33人）は、メンバーの桜田葉子県議会議員の提案もあり、17日の昼食を提供することにした。また、震災支援事業を考えておられた埼玉県・大宮見沼ライオンズクラブ（辺昌元会長／34人）が、合同アクティビティとして昼食代の半分と、この集いに役立てるために金一封を贈呈してくださった。

イラスト／篠田和夫

猪苗代町志田浜温泉レークサイド磐光で開かれた昼食会の参加者は、富岡高校の教師、生徒262人、また武藤博昭330・C地区ガバナー、久保田善九郎332・D地区ガバナーを始めライオンズ関係者も集った。

食事前に立花会長があいさつをし、武藤、久保田両ガバナーに激励の言葉を述べて頂いた。生徒の皆さんからも感謝の言葉を頂いた。

これからも大変なことがあるだろうが、若い彼らが前を向いて歩み続けられることを願い、支援していきたい。

（アクティビティ委員長／岸秀年）

福島ライオンズクラブ

子どもたちに屋内土俵を贈呈

福島ライオンズクラブ（過足廣次会長／31人）は4月22日、県北相撲協会に新しい「けいこ場」として屋内用土俵を寄贈した。

県北相撲協会の子どもたち（小・中・高校生18人）は、東京電力福島第一原発事故による放射線の影響で、屋外にある市営相撲場が今も使用出来ず、これまで高校の土俵を借りて部活動の合間などに稽古を続けてきた。

この度、当クラブが寄贈した屋内用の土俵は持ち運びも可能なので、今後、市内の体育館などでも練習が出来るようになる。

この事業には姉妹クラブである兵庫県・赤穂、東京高輪両ライオンズクラブ、そして台北市長安獅子会にも援助を頂いた。

土俵開きは市内の学法福島高校武道場で行われ、関係者が清めの塩をまき、太鼓演奏を行った。

席上、協会の佐久間行夫会長から過足会長に感謝状が贈られた。

土俵開きの後、子どもたちは真新しい屋内用土俵で汗を流した。練習後には、保護者らが用意してくれたちゃんこ鍋を一緒に味わった。

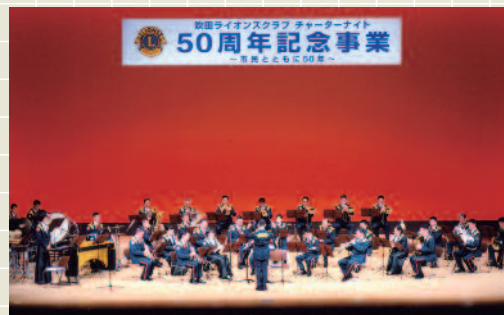
協会では今後、学校で武道が必修になるため、屋内用土俵を活用し、各学校に出向いて相撲のすばらしさを伝えたいと話している。

福島市出身の郷土力士には、双大竜、福轟力、大波、剛士がおり、みんな同じ土俵で稽古したわんぱく相撲の卒業生である。

今後も子どもたちの活躍に力添えを続けていきたいと思っている。

（東日本大震災義援金検討委員会委員長／渡辺一代）

大阪府・吹田ライオンズクラブ

震災を風化させないため市民と共に50周年

3月14日、小春日和の中、吹田ライオンズクラブ（林徹会長／29人）は吹田市文化会館メイシアター大ホールにて、チャーター・ナイト50周年記念事業を行いました。テーマは「市民とともに50年」。東日本大震災を風化させないようにと東北に関連した事業で、「吹田市民千人を集めて大ホールをいっぱいにしよう」を合言葉に、メンバー全員、この日まで一丸となってがんばって参りました。

期待と不安の中、当日ふたを開けてみると、何と1300人の人々が集まってくださいました。

東日本大震災で大活躍された自衛隊から第3音楽隊をお招きしての演奏会で幕を開け、懐かしのメロディーからAKB48まで、幅広く皆を楽しませて頂きました。特に指揮者体験コーナーでは、関西大学吹田市立千里丘中学の生徒さんの飛び入りで大いに盛り上がりました。

続いてはドキュメンタリー映画『蛍が飛んだ日』を上映。これは我々が中心になって4年間取り組んできた「里地・里山づくり」を取り上げたもの。荒れ地を開墾し小川を作り、田んぼや畑を耕し、そしてついに昨年6月7日に蛍が飛ぶまでを記録した感動物語です。

記念事業の最後は野村克也東北楽天ゴールデンイーグルス名誉監督が登場。昨年1年を表す漢字「絆」というテーマで1時間20分、例のごとくユーモアたっぷりのお話で、時間が経つのを忘れさせて頂きました。「野球（仕事）に学び、野球（仕事）を楽しむ」という名文句で締めくくられ大喝采を受けました。

こうして事業は大成功で終了することが出来ました。

（実行委員長／西川文男）

335-C地区第1リジョン第2ゾーン（京都府）

東日本大震災復興支援京都マラソン

3月11日、京都市主催の第1回京都マラソンが開催され、第1リジョン第2ゾーン所属の5クラブ（京都ウエスト、京都室町、京都朱雀、京都賀茂、京都ミレニアム）からレオや家族を含め145人と、第1、第2両リジョンの他クラブ・メンバーも多数、沿道支援ボランティアとして参加した。東日本大震災復興支援、京都・日本の活性化をテーマに掲げた大会である。

参加したメンバーは、早朝8時から、「東北に元気を！」という思いを込めて、沿道コース準備、整備に当たった。

当日は快晴、絶好のコンディション。風光明媚な京都の観光地を回る42・195キロに1万3913人が挑む。被災地枠では、京都が特に支援に力を入れている福島県からの参加者も多い。

次々とやってくるランナーに、私たちも警備をしながら声を掛けた。

「ガンバレ！」「ファイト！」

「ありがとう」「ガンバる！」

ランナーも笑顔で返してくれる。沿道の市民も大きな声援を送っている。ランナーとボランティア、そして市民が三位一体となった。

ほとんどのランナーが完走。今までのマラソンの中でこの京都マラソンがいちばん感動した、と言われる人がおられた。

ボランティアの数が多すぎたり、トイレの数が足りなかったり、初めてで段取りが不十分な点もあったが、総じて大成功と言えるだろう。

今大会での経験がクラブの結束を固め、更なる奉仕活動の原動力となったことは間違いない。

（京都マラソン支援協同委員会、京都ウエストライオンズクラブ幹事／西村榮）

岡山東ライオンズクラブ

友好の絆で奉仕活動に精進する「東同名友好会」

風薫る5月16日、岡山東ライオンズクラブがホストとなり、岡山市のホテルで「東同名友好会」の第47回総会を開催しました。同会は昭和45年12月、クラブ名に「東」が付く京都イースト、名古屋イースト、神戸イースト、尼崎東（後に解散）、和歌山東、岡山東により結成された友好団体です。相互協力と友情・親睦を図ることを目的とし、年1回持ち回りで総会を開いています。

発足以来40年以上にわたり、会員同士の交流はもとより、地域社会の発展と福祉向上に努め、その成果は特筆に値します。

岡山駅に集まった一行42人は、当クラブのチャーター・ナイト50周年記念事業で駅西口広場に設置された「吉備の冠者・温羅像」を見学。それから2台のバスに分乗し、備前市の特別史跡旧閑谷学校へ向かいました。同校は寛文6（1666）年、岡山藩主池田光政が創建した日本最古の庶民のための学校で、国宝の講堂や重要文化財5棟などの建造物から成り、目下世界遺産に登録出願の手筈とのこと。

午後からは備前焼の見学、街の散策。総会は午後4時からで、当クラブの加藤廸也会長の開会宣言で始まり、物故会員への黙祷、議案説明報告。全員から頂いたドネーションで温羅像の傍にハナミズキを植樹することに決定。次期ホストクラブの名古屋イーストライオンズクラブに友好旗を渡し閉会。

懇親会では瀬戸内海のサワラや旬の食材料理に舌鼓、下津井節の唄、踊りで最高に盛り上がりました。翌日の親善ゴルフ大会は31人が参加、岡山カントリークラブでプレーを楽しみました。

本会は「愛と和　心のかよう東同名」をテーマに、これからも友情と奉仕の輪をますます広げていくことでしょう。

（岡山東ライオンズクラブ）

秋田山王ライオンズクラブ

秋田ノーザンハピネッツ応援例会

Are You Ready?（準備はいいかい？）

Yes!（もちろん！）

Go Happinets!（行けハピネッツ！　がんばれハピネッツ！）

2月25日、bjリーグ秋田ノーザンハピネッツ（以下ANH）の試合応援が、秋田山王ライオンズクラブ（小木田喜美雄会長／34人）の第886回例会となった。

事の起こりは、「秋田を元気に盛り上げよう」と果敢にもプロ・バスケットチームを立ち上げた水野勇気ANH社長が我がクラブに入会したことに始まる。これを応援しなければ男じゃないと、小木田会長が例会振替を決めた。一方、ほとんどの会員は一度も試合を見たことがない（私を含め）。

当日、試合開始は6時からなのに4時半集合。寒い体育館で何をしていろというのかと思いきや……それは我々の勉強不足。まず選手のアップ。イヤ、すごい！　足を肩の高さまで上げて前方に軽々移動するわ、シュート練習ではスポスポ入るわ、チアガールが可愛らしいフリで華麗な演技をするわ……。

いざ試合開始！　最初は点が入らず、相手の新潟アルビレックスにファールを取られて失点、リバウンドは相手に持っていかれてヤキモキ。が、最後にクォーターインサイドを攻めて相手のファールを誘い、フリースローを確実に決めて逆転！　いや〜良かった。手に汗握り最後には立ち上がって手を振っていた。

試合終了後はライオン田崎宏明の店で懇親会。試合が終わったばかりのライオン水野も駆けつけてくれた。チームへの支援制度などの説明を聞き、出来る範囲で応援していこうと参加者全員で大いに盛り上がった例会となった。

（前会長／中川猛夫）

北海道・函館グリーン ライオンズクラブ

必見！　市民創作「函館野外劇」

全国に夏の風物詩と言われるイベントは数多くありますが、市民手づくりという点で注目されているのが函館野外劇です。函館地方のさまざまな出来事や人物を、伝説の時代から現代まで11の場面でつづった歴史劇で、7月初旬から8月初旬の週末の夜、国の特別史跡五稜郭跡の特設舞台で行われます。出演者延べ5千人は、恐らく日本最大規模でしょう。

市民手づくりの野外劇は、出演者から裏方まで全てボランティアにより運営されています。が、決して素人芝居というわけではありません。3月初めのオーディション以降厳しい稽古を続け本番を迎えます。私たち函館グリーンライオンズクラブ（27人）のメンバーも3年前から出演者として参加し、心から舞台を楽しんでいます。

歴史劇だけに、ペリー提督、土方歳三、石川啄木など、函館ゆかりの有名人が次々に登場します。司馬遼太郎『菜の花の沖』の主人公、高田屋嘉兵衛は、五稜郭の堀割に浮かべた船に乗って登場し、観客は十数艘の北前船が往き来する様に息をのみます。箱館戦争のシーンでは本物の「どさんこ（道産子／北海道産の馬）」が薄暗い舞台を自在に駆け回り、呼び物の一つになっています。

この野外劇の起源は町起こしです。昭和50年代から平成の初めに掛けて、函館の人たちは将来に明るさを見いだせずにいました。造船不況、北洋漁業の終焉、青函連絡船の廃止などは函館の経済を根底から脅かすものでした。

このような中で、活性化策の一つとして始まったのが「函館野外劇」です。国の特別史跡を使用すること、資金調達、演技者の育成、台本の作成など多くの困難がありましたが、地元の多くの人々の協力によって解決されていきました。

昭和63年の第1回公演以来、毎年開かれて、今年は節目の25周年を迎えます。夏の函館を訪れて、この壮大な歴史劇をぜひ体験してください。

（会長／末永玲子）

秋田県・大曲ライオンズクラブ

4年目を迎えた薬物乱用防止セミナー

大曲ライオンズクラブ（117人）は、秋田県大仙市内の小、中、高校生を対象とした薬物乱用防止セミナーを実施して、4年目を迎える。3月8日にも開催し、今年の受講者は604人となった。

また、今年からセミナーの教材として薬物乱用防止読本『薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」』を使うことにし、当クラブ・メンバーの認定講師が説明している。イラストをたくさん使った丁寧な内容で、小、中学生にも理解しやすく出来ている。

薬物は携帯電話やインターネットでも簡単に手に入る時代だが、薬物乱用はいったん始めるとやめられなくなること、乱用により中枢神経が侵され、心と体がメチャクチャになること、一度壊れた脳は元に戻らず、人生を台無しにしてしまうということがよく分かってもらえたと思う。

当クラブではアンケート用紙を作り、毎回セミナーの最後に、記入してもらうことにしている。

「薬物が恐いものだということは知っていたけど、なぜダメなのか、そして1回でも使ったらダメだということがよく分かりました。ゼッタイに手を出さないし、また友達や周りの人たちにも教えてあげたいと思います」

といった記入が多く見られる。

この講座が地域の青少年健全育成の一助となっていることを実感し、継続事業として実施していきたいという気持ちを強くしている。

（会長／藤谷文雄）

香川県・うたづライオンズクラブ

「生命のメッセージ展」開催

うたづライオンズクラブ（津谷陽一会長／41人）は3月2、3日、ユープラザうたづにて「生命（いのち）のメッセージ展 in 香川」を開催した。

生命のメッセージ展とは、犯罪、事故、いじめなどにより理不尽に生命を奪われた犠牲者の等身大の人型パネル（メッセンジャー）を展示するアート展。メッセンジャーの胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、その足元には生きた証である靴を置き、命の大切さを訴えている。

当クラブは「命がきちんと守られる地域社会」の実現、「命の大切さを地域住民が考えるきっかけの場」を提供することを目標として、青少年・YE委員会メンバーを中心に、同展実行委員会を立ち上げた。内閣府や文部科学省、法務省、香川県、県警、香川教育委員会などのご支援、ご協力を頂き、当県では初めての開催が実現した。

3日には会場で映画『0（ゼロ）からの風』を上映。一人息子を飲酒運転の車に奪われた母親が交通事故犯の厳罰化を求めて奔走するという実話に基づいた作品である。またこの映画のモデルとなった鈴木共子様の講演「見える命と見えない命」を実施した。

NHKのニュースや四国新聞にも大きく取り上げられ、映画、講演には200人、期間を通じて700人の方にご来場頂いた。「またぜひ開催してほしい」「次は子どもを連れて来たい」「飲酒運転は絶対ダメだということをもっと伝えたい」など、たくさんの声を頂いた。

後援、ご協力頂いた各種団体に感謝すると共に、今後も奉仕の精神を大切にするライオンズクラブとして地元に貢献するアクティビティを積極的に実施していきたい。

（実行委員長／伊藤祐一）

石川県・七尾ライオンズクラブ

クラブの歴史を学ぶ例会

能登半島中程に位置し、和倉温泉を擁する七尾市。4月19日は同市にある七尾ライオンズクラブ（寺岡順治会長／51人）の結成記念日です。

第3木曜日のこの日は当クラブの1129回目の定例会日。そこで「結成47周年記念例会」として、次の趣向で開催しました。

①出席率100%を目指す
②在籍するチャーター・メンバー3人のうちライオン円山義一に、クラブ結成当時の状況等をスピーチして頂き、原点を知る
③会員及び当日の参加者に紅白饅頭を配って祝う
④市内の女性グループ「高階くれない太鼓」による太鼓演奏で祝う

残念ながら出席率は91%にとどまりました。

ライオン円山はこの4月30日に90歳の誕生日を迎えられますが、かくしゃくとして張りのある声で、チャーター・メンバーならではのエピソードを交えた貴重なお話を披露してくれました。

結成の経緯に始まり、陰の功労者や初代会長のあいさつの言葉、転々とした例会場、チャーター・ナイトのことなど、それは興味深いものでした。また「家督に例えれば3代目がキーになるが、当クラブは初代、2代目、3代目で盤石の基盤を築かれたからこそ今日がある」と強調されました。

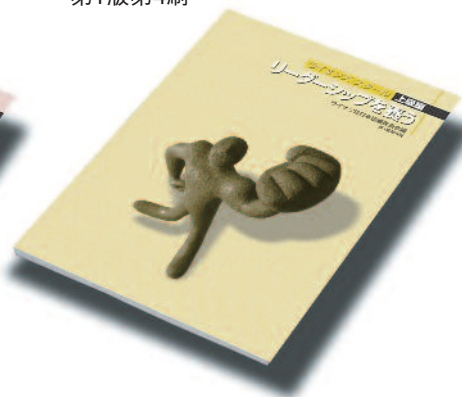
結びに「人は一人では生きられない。助け合って生きるのだ」と説かれた言葉が印象深いものでした。

高階くれない太鼓の演奏は優雅でいて力強いものでした。その活力を頂いて、50周年に向けてのライオンズ精神の更なる高揚を期すと共に、先達の志に誓いを新たにする会となりました。

（ライオン・テーマー、PR委員／守澤亥吉）

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズスクール・シリーズ

初級編・ライオンズクラブ入門
第3版第3刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

中級編・クラブ運営の基礎知識
第3版第2刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

上級編・リーダーシップを養う
第1版第4刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100～499部350円／500部以上300円

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jpあてにご注文ください。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門 …………… □部
●クラブ運営の基礎知識 …………… □部
●リーダーシップを養う …………… □部
●創刊55周年記念特別セット………… □セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の３冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

●投稿要領→54ページ

水みち

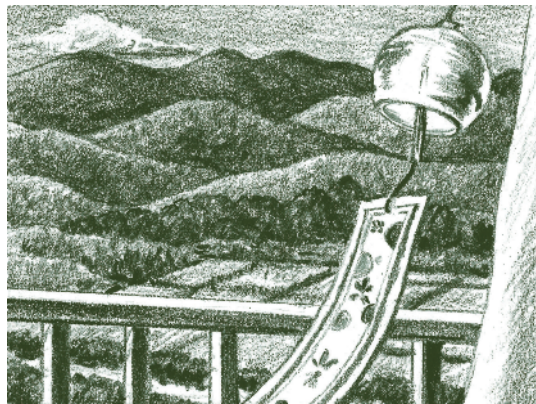
福村　善光（岐阜南）

3月4日の土曜日。取り立てて予定もなかったので、週に一、二度行っているウォーキングに出掛けました。我が家から1キロ程行くと長良川が流れており、そこの堤防の内側にウォーキングに適したロードがあります。

そこは「高橋尚子ロード」と呼ばれ、長良川公園を起点に、上流の長良橋から下の忠節橋まで、往復約5キロのランニングコースになっています。普段は市民がジョギングや犬の散歩などに利用し、休日にはマラソン大会などにも使われています。岐阜市出身の高橋尚子が、シドニー・オリンピックで金メダルを獲得したことをたたえ、彼女が岐阜商業高校時代にトレーニングしたコースを岐阜市が整備、命名したものです。

私の自宅からは長良橋の方が近いので、通常は上流から「高橋尚子ロード」を歩き、ちょうど中程にある金華橋を渡ってからは対岸を歩いて戻り、長良橋を渡って帰宅します。1時間程の行程ですが、この日は時間もありましたので、金華橋の更に下流にある忠節橋まで行き、この橋を渡り対岸を歩いて帰ることに致しました。

長良橋から金華橋までは良く整備されているのですが、その先の忠節橋までの道は、所々コンクリートになっていたり、アスファルトがつぎはぎになっており、足元を選びながら歩かねばなりません。

そんな状態で歩いているうちに、いくつかの場所で、水はけが良くなるように水みちが造られていることに気付きました。

イラスト／小川和政

よく見ると、何箇所もそのような水みちが造られています。市当局か国が、こまめに整備しているのだろうと、感心しながら歩いていると、遠くに犬を2匹従え鎌を持った老人が目に止まりました。

どうも姿形に見覚えがあるため、もしやと思い近づきましたら、やはり同じクラブのライオン高橋弥喜でした。この道を歩いている時、何度かライオン高橋と出会ったことがあったため、そう予感したのでした。

ライオン高橋は大の犬好きで、彼の発案から、聴導犬を支援するアクティビティをクラブで取り上げるようになったほどです。犬と一緒だったことも、ライオン高橋を想起させたのでしょう。

見ると、ライオン高橋は鎌で土手を切っていました。そうです。さっき見つけた水みちは、排水が悪くて道がぬかるむために、ライオン高橋が排水口として造ってくれていたのです。

それを知った時、感動しました。あの、ぶっきらぼうで世間ずれしてなく、子どものような一面があるライオン高橋が、こんな善行をしてくれていることを知り、急に我がクラブが誇らしく思われてきました。

ライオン高橋は今期の下期から、「しばらく事業に専念し立て直すのだ」と、不在会員になっておられます。

ライオン高橋が、早期に正会員に戻られることを切実に祈念申し上げます。

獅子吼

ライオンズクラブの法人化を考える

池田　和司（東京桜門）

ライオンズクラブは、国際協会及びライオンズクラブ国際財団（LCIF）が、アメリカにおいて非営利法人として登録されているが、ドイツや韓国を除く全世界の大半のクラブは現在、任意団体として活動している。

日本では、青少年育成や不動産取得など特定の目的で、ライオンズ・メンバーが活動する法人は各地で見られる。が、東京鳥越ライオンズクラブ他4クラブの寄付により1983年に設立された高校生のための奨学金制度「愛のライオンズ奨学金財団」のように、国際協会が正式に承認した活動法人はまれであり、国際協会の法人化に対する慎重な姿勢がうかがえる。

とはいえ、ライオンズクラブが法人格を取得すれば、法律上の権利能力者となることにより、例えば不動産取得の場合、契約の主体として団体が資産を持つことが出来るなどのメリットがある。このように法人化することで、より有意義な奉仕活動を行う環境が整うとしたら、それは十分検討に値するテーマであり、330・A地区においては1975年以降、何度か法人化に関する議論が高まった時期があった。

このような背景に加え、公益法人制度改革の移行申請期限を来年11月末日に控えて、330・A地区では2011・12年度の大石誠地区ガバナーの諮問により法人化検討委員会が設立された。委員会ではライオンズクラブ周辺での法人格取得については検討対象外とし、ライオンズクラブ自体の法人化について多角的な検討を行った。

日本ライオンズ結成以来60年の間に、国内外に果たしたライオンズの社会奉仕は4千億円に近いと言われるが、その実績に対しての社会的認知度や評価は深まっていないのが実情である。しかしながら、法人格を持つ公認団体となれば社会的価値が向上し、会員増強やアクティビティの活性化が期待出来る。

また、寄付を行った法人の損金算入措置やメンバー個人への税金控除、あるいは相続の課税対象外措置等の税制上の優遇措置がメリットとして挙げられる。

では、公益法人（社団・財団）、一般社団法人、一般財団法人、NPO法人（知事または内閣府の認定）、認定NPO法人（国税庁長官の認定）といった各種法人のうち、どの形態を選択するのか。これについてはそれぞれの法人のメリット、デメリットを抽出した上で、十分に比較検討しなければならない。

そして同時に、法人化すべき対象を単一クラブ、準地区、複合地区のどの範囲とするのかも検討する必要がある。

そんな中、330・A地区では3月18日に、法人化検討セミナーを開催した。講師を務めて頂いた大野元裕元330・C地区ガバナーは、公助と自助という従来型モデルから、官だけでなく市民、NPO、企業などが積極的に公共的な財・サービスの提供主体となって活動する共助の精神が「新しい公共」の姿であるとした上で、これからの地域社会に更なる貢献を果たすためのライオンズ法人化の意義を強調された。

また、単一クラブ、準地区、複合地区それぞれについて認定NPO法人になる場合の具体的なケーススタディをすることで、対象範囲によって法人化の効果が大きく異なる点を解説頂いた。

続く有賀靖典東京青年会議所（JC）理事

の講演では、東京JCが2011年に公益社団法人化するまでの経緯をご説明頂いた。

講演終了後は活発な質疑応答が行われ、ライオンズの法人化がいよいよ現実味を帯びてきた実感をセミナー参加者一同が共有した。

法人化を実現するためには、国際協会の承認を得ることが肝要であり、そのためにはLCIFと競合しないよう配慮すべきだろう。また、公益法人を目指す場合は公益事業比率が50％以上であることや、NPO法人の場合は活動が17分野に限られるなど、各法人における条件を満たさなければならない。更には事務局の開設や人事、金銭管理など、運営上の諸問題など幾多のハードルが待ち構えており、もちろん実現には相応の時間と労力を要するであろう。

しかしながら、ライオニズムの高揚と発展のために、ライオンズクラブ法人化の検討は今後も継続すべきであり、目標を達成するためには、法人化実現に向けての各メンバーの熱意や関心こそが最も重要な要素だと感じている。

（2011・12年度330・A地区法人化検討委員会委員長）

ライオンズクエストとはなんじゃいな？

浅野　洋輔（岡山県・倉敷天領）

正月気分も明けやらぬ1月7日、8日の両日、同じクラブのライオン溝口香と二人で、ライオンズクエスト・プログラムのワークショップに参加しました。

「そりゃあ、いったいなんじゃい？」

そう思っていませんか？

そうなんですよ。実は私も、参加するまでは「ワークショップって何を売ってる店かいなあ」程度の認識しかなかったんです。しかし、熱心な講師と、当日集合した30人の真面目な生徒たちに囲まれながら、2日間もまれると、心身共にすっかり変身したように感じました。

この「真面目な生徒たち」というのは、実は小中学校の先生方です。日頃、児童・生徒に教科を教える他に、生活指導面でもご苦労されていらっしゃいます。

ワークショップの参加者はそんな方たちばかりですが、先生としての立場は逆転。ここでは「指導される側」、正確には「指導されつつ他の参加者と共に全員で考える側」といったところかもしれません。

児童・生徒に生活指導をする際、「どのように指導するのがいちばんいいか」など、実際に想定されるケースを全員で考える……これが、ワークショップですね。

例えば、中学2年の生徒が、「学校から帰る時に、友人からゲームセンターへ誘われたんだけど……」と相談に来たとします。さあ、どのように対処するか。もし、あなたが中学校の先生だったら、その生徒にどのように答えますか？

「いいよ、行って楽しんでおいで！」

そう答えることも出来ます。時には、こ

れが正解になることもあるでしょう。あるいは逆に、

「だめ！　絶対に断りなさい」

と言うことも出来ます。この場合、どのような理由を付けて断るよう指導しますか？

算数や数学などの問題であれば、答えは一つしかありません。しかし、生活指導における答えは、場面に応じていろいろ考えられます。非常に難しいですよね。

そんな生活指導の場面ごとに的確なアドバイスを与えてくれるのが、ライオンズクエスト・プログラムです。

皆さん、ここでクラブの例会を思い浮かべてください。

例会場にスローガンなどが、いくつか掲げられていませんか？　国際会長のテーマであったり、地区ガバナーやクラブ会長のスローガンであったりします。

我がクラブの場合ですと、金岡誠地区ガバナーのキーワードが掲出されています。その中に「青少年健全育成」という言葉が踊っています。まさに、これがライオンズクエストです。そして、その理論を書き記したのが、ライオンズクエスト・プログラムであり、その実践方法を学ぶのがワークショップです。

2日間のワークショップで、私なりにライオンズクエストの良さは理解出来ました。が、同時に難しい面があることも分かりました。

というのも、プログラムを実際に運用するのは学校の先生になるわけです。そこに、我々ライオンズクラブはどうかかわれるのか、あるいはかかわるべきなのか。そこが問題です。

私の中では、まだ明確に分かったわけではないのですが、2日間のワークショップを通じて「ライオンズクラブと学校、あるいは先生とのかかわりを、より緊密にしていくこと」が大切であると感じました。となると、どのようにして緊密な関係を構築するかが、今後の課題となってきます。

新年度から、当クラブのライオン佐藤慎司が、地区青少年健全育成委員長に就任されます。いろいろな施策が打ち出されることになると思いますが、ライオン佐藤をバックアップする意味でも、倉敷天領ライオンズクラブとしてそれらをしっかり受け止め、活動の基盤を固めたいと考えています。

地震よもやばなし

加藤　勲（宮城県・仙台南）

大自然の恩恵を享受して、人類は成り立つことを、この日ほど強く感じたことはありません。地球においては、各種の動物・植物・その他の物が存在しており、お互いに共存共栄のほか道は無く、人類のみの繁栄は不可能なことであります。

平成23年3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生し、更に大津波が東北から関東の太平洋沿岸部を襲いました。天変地異とはこのことかとの思いであります。地域の犠牲者も数多く、建物の損壊も甚大であり、悪夢か現実かと、途方に暮れる毎日でありました。

332‐C地区においては、直ちに被災者の救済に当たりました。当クラブの被災された会員に対しても、手厚い支援金を交付されまして、心より感謝申し上げます。また、全国南ライオンズクラブ友好会を始め、各クラブの皆様から多大なる心温かなご支援を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

昨年2月26日、当クラブ結成35周年記念式典を開催しましたが、地震に遭わずに済

み、誠に幸運でありました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

◆

腹八分目という言葉があります。クラブの記念行事等を実施するに当たり、担当する会員は情熱を傾け過ぎて、行事が無事に終了した後、情熱も冷めて安堵感に浸り、心身に空虚さのみ残ることがあります。退会の一因となりやすいので、調和の取れた奉仕活動をすることが大切かと思われます。

親しき仲にも礼儀あり。ライオンズクラブに限らず、他の場合でも同様ですが、クラブ内の家族同伴での例会や各行事においても、親し過ぎての礼を失する言動が原因で退会を招くことが少なくないので、大いに留意すべき点であります。

心豊かに、会員みんなで助け合う温かな心をもって、奉仕に参加することが最も大切であります。飽食暖衣の誠に住みよい時代となりましたが、人はみんな財布が温かくなると、紐が堅くなり、心は冷えてしまいがちです。街頭募金の際においても、身なりの良い人ほど遠ざかり、頂けないと思われる人たちが、尊い芳志を差し出してくださることがままあります。人は見掛けによらずの教育実践の場であります。労力奉仕によって、心が豊かになってきます。

私事ですが、後期高齢者の身となり、聴覚や歩行の不全のこともあり、当クラブ結成35周年を契機として、ライオンズクラブを卒業したく思っておりましたところ、地震に遭いました。非常事態であります。私自身も被災致し、332‐C地区から災害支援金一封を頂きましたので留年となり、みんなの足手まといにならぬよう気をつけて、奉仕に参加させて頂きたく思っております。

また、奉仕の始まりは、クラブの各役職を受けることと思っておりましたのですが、来期7月からの会長予定に指名されました。本当に困ったことになりました。断ることも出来ずにやむを得ず受けることになり、会員の皆様の温かなご指導とご支援をお願いして、更に努力したく思っております。

昨年は地震・雷雨・噴火等の自然災害が次から次へと嵐のような自然界の大試練に遭いました。まさに、この世の終わりかと思われる程でありました。栄える者は、やがて衰えるのが世の常であります。青少年たちを次代の担い手として健全な育成に努めて、未来に継続し、安全に暮らせる平和な社会を作ることは、ライオンズクラブ会員の使命でもあります。

これからは、災害後の復活を願って、会員みんなで知恵を出し合いながら、奉仕活動を計画すべく準備を重ねて、何事にも最善策と最大限の努力により、より良い成果を得るべく奉仕に邁(まい)進致し、災害の無い平穏無事な1年となりますよう、祈る今日であります。

心豊かに　青少年よ育て　ウィ・サーブ

46都道府県（沖縄県を除く）広域認可を取得した事業協同組合です。事務用品・車両関連製品の共同購買や、ETCカードの取扱い等、組合員様のお役に立つサービスを展開しています。

エス・バイ・エス事業協同組合

北海道本部　〒060-0054 北海道札幌市中央区南4条東3丁目1
イハラビル5F　TEL011-223-1460
東京本部　〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目1番16号
第3粕谷ビル7F　TEL03-6402-7541
各地支部　茨城支部　新潟支部　中部支部　福岡支部

331-A地区　札幌東ライオンズクラブ

＜安井企業グループ＞

代　表　安井　克之

・・・・・・社会との共生をめざす・・・・・・

株式会社　安井組
株式会社　安井組運輸
三共宇部生コン株式会社

〒078-8354
北海道旭川市東光１４条１丁目３番６号
本社代表　☎　０１６６-３１-５１１１

キレイを科学する

有限会社　宝実

（ダスキンフランチャイズ加盟店）

代表取締役　中嶋 辛

室蘭市寿町2丁目24番19号
電話：0143-43-8718　FAX：0143-43-8990

ふるさと探訪
青森県五所川原市　文／砂山幹博　写真／田中勝明
三本の弦が放つのは
津軽の風土が育んだ魂の響き

三味線の活気にあふれる津軽の春

桜前線の訪れに足並みをそろえるかのように、津軽では三味線熱がピークを迎える。大型連休中、桜の名所でにぎわいを見せる花見客をよそに、県内3カ所で津軽三味線の大会が開催される。中でも津軽三味線発祥の地である五所川原市金木地区の「津軽三味線全日本金木大会」は全国から演奏者が集まる大会で、これまで多くの有望な若手を輩出してきたことから、若手の登竜門として知られる。

津軽三味線は、その名の通り青森県の津軽地方で生まれた三味線音楽だ。民謡の唄を引き立てる伴奏楽器であった三味線は、この地で次第に伴奏の枠からはみ出し、独奏でも聴く人の心を引きつける芸能として確立されていった。バチを叩きつけるように弾く打楽器的な奏法が特徴的で、強いビートと迫力のある音は世代を超えて多くの人々を魅了している。

演奏者の年齢層も幅広く、金木の大会にも老若男女が腕を試しにやって来る。小学生以下、中高生、一般、60歳以上のシニアと年代別にそれぞれ個人戦と団体戦がある（シニアは個人のみ）。一般の部は更に習得年数5年未満のC級、5年以上のB級、習得年数を問わないA級に分かれる。純粋に三味線を楽しみたいという人たちの参加が多数を占める一方で、最高の実力を競い合うレベルの高い闘いも繰り広げられる。

4年前から、個人一般の部A級に限って1対1の勝ち抜きトーナメントが導入された。自分が得意とする津軽民謡を1曲選んで披露するB、C級とは異なり、A級では対戦ごとに津軽五大民謡（じょんから・よされ・あいや・小原・三下がり）から1曲がくじで選ばれ、その曲を弾き合って勝敗を決める。つまり、五大民謡全てを弾けないと勝ち進むことが出来ないのだ。津軽民謡から逸脱する演奏は評価されず、基本的な民謡の旋律を守りつつ、いかにアドリブを加えて個性を出すかが勝負の分かれどころ。トーナメント制の導入後は、これまで以上に手に汗を握る曲弾き対決が生まれ、結果的に大会そのもののレベルが向上した。

中高生団体の部で過去に3連覇を成し遂げている五所川原第一高等学校を訪れた。金木の大会まで残すところ3週間とあって、放課後の校内には津軽

早弾きが多いため、三味線の中でもバチは小さめ。津軽塗が施された胴掛けが津軽らしい

今では独奏が普通になったが、かつては津軽三味線も歌い手に合わせて伴奏した（撮影協力：津軽三味線会館）

三味線部の大きな音が鳴り響いていた。練習は既に仕上げの段階に入っており、主に演奏の早さや間をチェックしていた。なかなか堂に入っており、入部時にはほぼ全員が初心者だったというのが嘘のよう。市内で三味線部があるのはこちらの高校と、大会が行われる金木にある県立金木高等学校の2校。大会には、他にも全国からの参加がある。4連覇のプレッシャーからか生徒たちは終始緊張の面持ちであったが、大会での健闘を期待したい（結果は残念ながら、金木高等学校の初優勝で幕を閉じた）。

今に生きる、始祖の教え

三味線から派生して、津軽三味線のスタイルが確立されたのは明治の初期。仁太坊（にたぼう）という人物が基礎を作り上げたと言われている。幼くして母を亡くし父に育てられた仁太坊は、8歳の時に失明。光を失った仁太坊はある時、津軽に流れ着いた瞽女（ごぜ）と呼ばれる女性の盲人芸能者が奏でる三味線の音色に感銘を受け、彼女から三味線を習い始めることになった。この時代、津軽地方で目が不自由な人々は、女はイタコ、男は門付け（かどづけ）として生きていくことが半ば運命付けられていた。門付けとは、家々の門前に立って三味線を弾いたり唄うなどの芸をし、その報酬としてお

金や食料をもらって日々の糧を稼ぐ人のこと。11歳で父を亡くし天涯孤独となった仁太坊は、その後門付けで生計を立てていくことになる。

門付けは物ごい乞食と見られていたが、仁太坊は「自分は乞食ではない」というプライドを持ち、芸人として生きた。そういう生き方に同じ目の見えない子どもたちが共感し、仁太坊の弟子となっていく。必死に自分の真似をする弟子に対し仁太坊は「人真似ではない自分の三味線を弾け」と教えたという。もともとが盲人芸のため、楽譜は無く即興で弾くもの。弾き方も始めと終わりだけが決まっているが、ほとんどがアドリブだ。だから同じ曲であっても奏者によって内容が違うし、同じ奏者でも弾く度に変わってくる。こうした自由度の高さもあって、さまざまな個性を持った演奏者が出現した。

門付けで生きて行く上で必要なのは人々の興味をひく大きな音を奏でること。今と違ってマイクやスピーカーがない時代、大きな音を出すために三味線そのものも改良された。瞽女が用いていた中棹や細棹より強く大きな音が出せる太棹に代わり、胴には猫の皮ではなく、やはり大きな音が出せる犬皮が使われるようになった。太鼓のように強く叩いて打ち鳴らす津軽三味線の代名詞「叩き奏法」には、犬皮はうってつけであった。

パフォーマンスは三味線以上？

昭和40年代の民謡ブームで津軽三味線は人々の知るところとなり、平成になって吉田兄弟が登場すると、その斬新なスタイルから伝統芸能というこれまでのイメージが払拭された。こうした津軽三味線の本流とは別に、意外な方向へと進んだ流れもある。

金属製のスコップを三味線に、栓抜きをバチに見立て、バックに流れる津軽三味線の演奏に合わせて、栓抜きでカチカチ音を鳴らしながら三味線弾きの真似をする。名付けて「スコップ三

大会を目の前に控え、熱が入る三味線部の練習風景（五所川原第一高等学校）

絶妙のネックパフォーマンスを見せるスコップ三味線歴30年以上のライオン小山内

味線」。ギターを持っているふりをしてパフォーマンスをする「エアギター」の影響もあってか、このところメディアにも取り上げられるようになったが、その歴史は意外に古い。

1985年の忘年会シーズン、ある酔っぱらいが店の前に立てかけてあった雪かき用のスコップを持って店に入ると、この年大ヒットした青森県出身の歌手、岸千恵子の「千恵っ子よされ」に合わせて、スコップを三味線に、カウンターにあった栓抜きをバチに見たてて演奏の真似をし始めた。これがスコップ三味線誕生の瞬間だ。この宴会芸はまたたく間に町を駆け巡り、誰もが一度はスコップ片手に「千恵っ子よされ」を歌ったという。

「スコップ三味線という名前が付けられたのはここ5、6年のこと。最近では発祥の地である五所川原で世界大会も開かれ、県内はもちろん、国内外から多くの参加があります。特に団体戦は、毎年予想をはるかに超えるパフォーマンスが披露され、大いに盛り上がります」

とは、スコップ三味線歴30年以上で、師範の肩書きを持つ小山内文明（中泊ライオンズクラブ）。これまで6千人以上の人々にスコップ三味線の指導を行い、その楽しさを伝えてきた。

毎年、12月上旬に行われる世界大会は、千円の参加費を払えば誰でも参加出来る。今年のクラブの忘年会は、スコップ片手に五所川原へ出掛け、団体戦で盛り上がってみるというのはいかがだろう。

津軽半島北西部の日本海岸にある十三湖は、岩木川の水と日本海の海水が混じる汽水湖。五所川原市の十三湊は古くから港町として発展した。また、十三湖は宍道湖、小川原湖と並び日本有数のシジミの産地として知られている。金木の三味線大会に先立つこと約1カ月、4月10日には十三湖でヤマトシジミ漁が解禁され、夏場の産卵期を除き10月15日まで漁が行われる

郷土自慢・クラブ自慢

五所川原ライオンズクラブのクラブ自慢は、立佞武多（たちねぷた）。「青森ねぶた」「弘前ねぷた」と並んで青森三大佞武多に数えられる人形灯籠タイプの佞武多である。明治時代、津軽の木材と水産資源の集積地であった五所川原は、商人の町として隆盛を極めた。町の豪商や大地主らは富と力の象徴として佞武多の高さを競い合い、その結果生まれたのが巨大な立ち姿の佞武多である。高さ20メートルを超えるものも珍しくなく、当時隣町であった金木からも見渡せたという。ところが、電気の普及で町に電線が張り巡らされると佞武多は次々と小型化した。巨大な立ち姿が人々の記憶からも消えかけていた1993年、ひょんなことから明治の頃の巨大佞武多の写真と図面が発見された。これをきっかけに市民有志が3年をかけて高さ22メートルの佞武多を復元。新たに「立佞武多」と命名され、約1世紀ぶりに五所川原の町を練り歩いた。その雄姿は、8月4日～8日の立佞武多祭りで鑑賞出来る。市内「立佞武多の館」には常時、巨大な3台の立佞武多が展示されている。

▼五所川原ライオンズクラブ（岡田殉会長／52人）＝1963年12月12日結成／スポンサー：弘前ライオンズクラブ

▼知的障がいがある方とその家族、地域住民、ボランティアが一堂に集うスポーツ・レクリエーション活動「愛の輪レクリエーション大会」への参加協力を30年以上にわたって継続している。2011年9月に行われた第34回大会には、330人分のそばを用意し、大会参加者に無料で提供した。

読者から—5月号

■緑の防波堤

被災地の復興はがれき問題の解決に掛かっています。私の住む地域ではいまだ5％程しか処理が進んでおらず、この問題を避けて通ることは出来ません。千葉県・浦安ライオンズクラブが震災がれきを活用した「緑の防潮堤」という植樹に取り組まれているとの記事（THEME）に大変感動しました。がれきは当事者にとっては掛け替えのない財産であり思い出であります。被災者の思いを礎に、その上に植樹をし、「千年先の未来を守るための防潮堤」を築く計画は、全国、全世界のライオンから共感、支持されると思います。この流れが東北の被災地にも広まることを祈念します。また、22㌻に会員増強アワードの受賞者が掲載されましたが、どのようにして5人以上スポンサーしたのか、何人かピックアップしてインタビューし、その手法やクラブの年会費、男女の比率、年代構成、退会率など教えて頂きたいです。参考になることが多くあると思います。

宮城県・仙台青葉ライオンズクラブ●平嶋敬義

■未来を見据えた森作り

タム国際会長が「世界に100万本の木を植えよう」と提唱されたのに対し、既に740万本の植樹が行われている。実に7・4倍もの目標突破である。かつて森はもっと身近な存在だった。人は森に囲まれて暮らしその豊かな恩恵を受けていたが、都市化が進み、人と森の距離がだんだんと離れている現象が気になる。100年先、更にその先と、未来を見据えた活動が各ライオンズクラブに必要であるとの認識を深めた。

宮崎県・高原ライオンズクラブ●末岡優

■真のアクティビティのために

私がライオンズクラブの活動の中で大きな役割と常々思っていることは、後継者の育成です。先輩ライオンから継承した奉仕の精神を更に次の世代へと引き継いでいく。そのためにも、将来メンバーとなる子どもたちを育む活動を強化したいものです。各地のライオンズクラブからの「クラブ・リポート」が増えているように感じます。全国のクラブのリポートがより多く掲載されれば、それを参考にして新たな事業の発掘につながるものと思います。心から望まれる真のアクティビティを追求したいです。

京都サウスライオンズクラブ●松岡勲

ライオン誌例会のススメ

ライオン誌日本語版委員会はライオン誌を活用した「ライオン誌例会」を推奨しています。

7月号THEME（5～13㌻）は「メンバーシップ」。前半に収録した日本メンバーシップ・セミナーの講演、パネル・ディスカッションには、クラブの活性化につながるヒントが豊富に含まれています。後半のグローバル会員調査のリポートを基に、例会で自クラブの現状を調査、分析してみましょう。クラブ強化、会員増強に向けた戦略が見えてくるはずです。

ライオン誌例会のノウハウを収めた**「ライオン誌例会 開催ガイド」**は、ライオン誌ウェブマガジン（www. thelion-mag.jp）「各種書式／ロゴ ダウンロード」のページでPDFファイルをダウンロード出来ます。本誌バックナンバーはEブック形式で公開しておりますのでご活用ください。

ライオン誌投稿要領

■クラブ・リポート 今月号30～41㌻：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。写真があれば添付。

■獅子吼 今月号43～47㌻：会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。

▼アクティビティ写真は動きのあるものを。記念撮影のような写真は掲載に適しません。

▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。

▼住所、氏名、クラブ名を明記。

送付先：〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ライオン誌事務所
Fax：03-3546-2630
E-mail：edit@thelion.jp

もう一度読みたい「あの記事」

●1993年10月号　クラブ・リポート

「24時間かけ奥尻島へ救援物資を搬送」

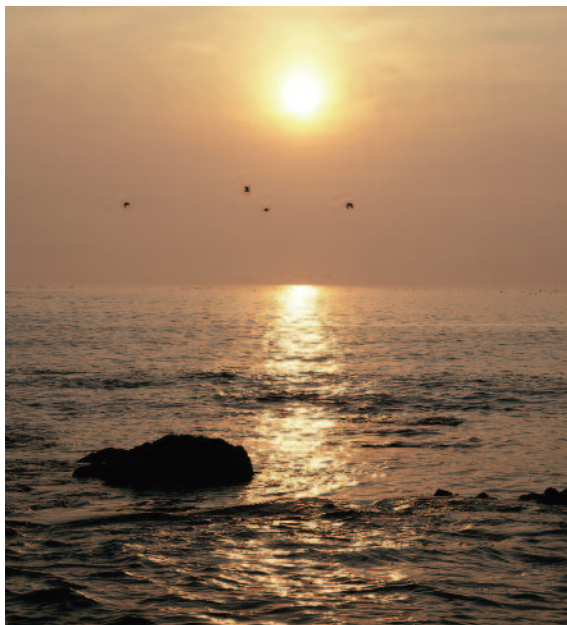
茨城県・水戸ライオンズクラブ

『ライオン』誌バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

テレビから臨時ニュースが流れた。奥尻島の土砂に埋もれたホテルや炎上する家屋が映し出された。島全体が壊滅状態である。これはひどい。他人事ではないぞ。誰もがそう思ったに違いない。

7月21日の例会で、幡谷浩史会長から緊急提案があった。

「最大の被災地である奥尻島に義援金と救援物資、総額500万円を贈りたい。早く、自分たちの手で運び、直接被災者の方々に手渡し、少しでも私どもの気持ちを伝えたい」

新年度始まったばかりの例会に一瞬戸惑いの空気が流れたが、すぐにその重要性が理解され、拍手で承認された。

被災地で今、最も必要としているものは何か、あらかじめ奥尻町役場に問い合わせ、具体的な品物を確認した。島へ渡るフェリー会社に救援物資を送りたい旨を説明し、7月26日の便を確保。大型トラックの手配も済み、輸送ルートも調べて実施計画が出来上がった。

救援物資の調達は、事情を知った企業が原価で、あるいは無償で提供してくれた。物資は続々と集まり、奥尻島災害対策本部と打ち合わせた通り商品別に分類、数量を明記した大箱が山積みとなった。物資の整理とトラックへの積み込みは、十数人の会員が1日がかりで行い、すべての準備が完了した。

7月25日正午、大型トラックと随行する乗用車の会員7人は、雨の中を奥尻島に向けて出発した。東北自動車道を夜通し走り続け、フェリーを2カ所乗り継いで、24時間後の26日正午、奥尻島に着いた。フェリーの中で3～4時間の仮眠を取ったが、会員たちは被災地のことを思い緊張していた。

奥尻島は防波堤がゆがみ、港が変形、土砂に埋もれたホテルの現場が目の前にあった。がれきの山の間を通り抜けて間もなく、壁の崩れた古い2階建ての町役場に着いた。町長は現場に出ており、西元助役に幡谷会長から義援金をお渡しした。人命救助を第一として、陸海空の自衛隊員1300人が来島していること、島の産業である漁業が壊滅したこと、災害が軽かった所でも観光客が途絶えて収入が無くなったことなどの説明があった。

救援物資の集積場所は高校の体育館が当てられ、既に自衛隊員、大学生、一般企業の会社員等、100人以上のボランティアの方々が整理に汗を流していた。

フェリー出港の時間まで、役場の許可を得て、最大の被災地である青苗地区を訪れた。異臭の漂うがれきの山、その惨状は言葉に表せない無残な光景であった。あまりの痛々しさに無口になってしまった私どもであったが、気を取り直し、奥尻島の1日も早い復興を祈りつつ、夕刻島を離れた。

あっという間の4時間の滞在であった。こうして、事業決定から6日、往復1800キロのアクティビティは無事終了した。

（PR委員長／L桧山一郎）

LION

釜山国際大会

次号予告

THEME 釜山国際大会

6月22日～26日まで韓国・釜山で開かれる第95回国際大会は、登録者5万人を超えて史上最大規模となる。お隣り韓国での開催は1995年のソウルに次いで2度目で、日本から大勢の参加が見込まれている。世界のライオンズが交流を楽しみ、新国際会長の就任に立ち会う釜山国際大会の模様をリポートする。

2012-13年度国際会長テーマ

来る新年度、国際協会を率いるライオンウェイン・マデンが掲げる国際会長テーマとその方針を発表する。更に新国際会長の人となり、ライオンズクラブにおけるこれまでの歩みを紹介する国際会長プロフィールも掲載。

＊8月号は国際大会と新年度関連情報を収録する特集号のため、「クラブ・リポート」「獅子吼」「ふるさと探訪」は休載します。

読者プレゼント

■五所川原の「赤～いりんご」を5人に

「ふるさと探訪」(49ページ) に登場した青森県五所川原市で作られている「赤～いりんご」のドリンク、サイダー、ドレッシングをセットにして、5人の読者にプレゼントします。「赤～いりんご」は皮はもちろん果肉まで赤という、五所川原限定の珍しい品種です。他のリンゴに比べてポリフェノールや食物繊維が豊富。酸味が強く生食向きではありませんが、その個性を生かしてさまざまな加工品が生まれています。

応募要領：プレゼントをご希望の方は、はがきに「赤～いりんご」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。ライオン誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=0)からオンラインでの応募も出来ます。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は7月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

築地通信

●「クラブ・リポート」取材で訪ねた大分市坂ノ市「萬弘寺の市」。伝統の物々交換に参加した。朝4時、地元の青年たちが吉四六さん、おへまさんに扮して盛り上げる中、真っ暗な広場に「かえんかえ～」の声が響いてスタート。持参した焼き菓子は、石鹸→タオル→夏みかんと姿を変え、「ちょっと見劣りするな～」と駆け引きをしつつ、最後は布草履と切り干し大根、みかん数個に。お目当ての婦人会特製鯵寿司は手に入らなかったが、満足のいく収穫。気が付けば、明るくなった東の空に三日月が輝いていた。(かわむら)

Official publication of Lions Clubs International

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish,Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

編集室

1枚の写真と人間賛歌

ライオン誌
日本語版委員
◉
宇田川雄弘
（東京練馬）

今年のゴールデンウィークは過去に経験のないような天候不順に見舞われました。そのため全ての旅行をキャンセルし、閑老兵を決め込んで、書棚や机の回りを整理する羽目になりました。

ライオンズに入会して50年。思えば遠くまで来たものと、懐かしい写真や書類が目に留まり、かえって処分出来なくなり、藪をつついて蛇が出るの有様となりました。当誌の読者も同様でしょうか?

入会した当時、地域に声望ある誇り高き大人の群雄、先達ライオンたちの生き生きした活動に憧れ、「いつか自分も」と思いながらの半世紀でありました。

長年在籍出来たのはクラブの同志と共有する奉仕の満足感のためだけだろうかと、漠然と考えておりましたが、これまで出会った方方との思い出の写真にその答えがありました。入会間もなく地区YE委員会で出会った故ライオン倉田秋太郎には人生の師として、寛容、包容力、継続力の大切さを教えて頂きました。恩師の葬儀にて弔辞を読んだ時のことがありありと脳裏に浮かびます。麻薬・覚せい剤乱用防止センターの立ち上げに共に参加した同胞、日本骨髄バンクの草創期に評議員としてかかわったライオンたち。ライオンズ・ライフに大きな影響を受けた先輩や仲間との日々が走馬灯のように駆け巡り、血がたぎる思いがしました。

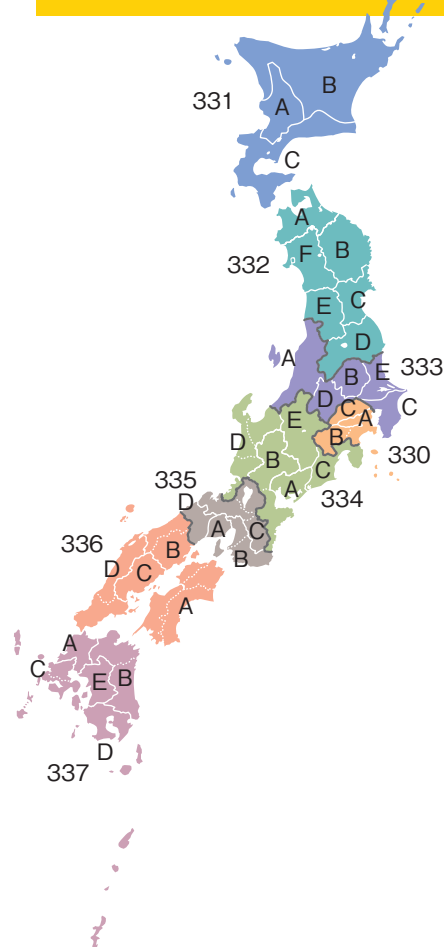
ライオンズの最大のメリットは人との出会いであると改めて思います。そして仲間づくりには、感動ある奉仕の瞬間を共有することがいちばんです。道半ばの会員の皆様、よりすばらしい出会いで感性を高め、人間力を形成してください。昭和の香りと風貌を持つ先達会員の皆様、人生は続きがあるから面白いと言われます。会社の後継者や子ども、孫が可愛いのはなぜでしょう。私は「タスキ」を渡す若人を育て、夢の続きを見させてもらえるからと思っています。

そんなライオンズの人間賛歌を回顧させてくれたゴールデンウィークに感謝しながら、もう少し先まで歩んでみたいと思っています。

日本のライオンズ

2012.5.31　eMMR ServannA報告による

地区	都道府県	クラブ数	会員数	男性会員	女性会員	期首からの増減
330-A	東京	204	5,131	4,393	738	204
330-B	神奈川・山梨・東京	181	4,999	4,398	601	89
330-C	埼玉	97	2,421	2,165	256	21
330	計	482	12,551	10,956	1,595	314
331-A	北海道（道央）	71	2,444	2,262	182	-7
331-B	北海道（道北・道東）	90	2,525	2,400	125	43
331-C	北海道（道南）	56	1,849	1,654	195	-36
331	計	217	6,818	6,316	502	0
332-A	青森	66	1,785	1,597	188	67
332-B	岩手	55	2,330	1,627	703	112
332-C	宮城	76	1,556	1,272	284	23
332-D	福島	76	1,981	1,782	199	25
332-E	山形	58	1,842	1,635	207	26
332-F	秋田	51	1,312	1,073	239	26
332	計	382	10,806	8,986	1,820	279
333-A	新潟	78	2,893	2,569	324	45
333-B	栃木	56	1,556	1,134	422	-27
333-C	千葉	139	3,551	2,975	576	15
333-D	群馬	54	2,145	1,730	415	69
333-E	茨城	78	2,889	2,576	313	80
333	計	405	13,034	10,984	2,050	182
334-A	愛知	122	5,386	4,814	572	118
334-B	岐阜・三重	83	3,593	3,303	290	89
334-C	静岡	83	3,220	3,092	128	64
334-D	富山・石川・福井	97	3,911	3,658	253	21
334-E	長野	53	2,088	1,857	231	50
334	計	438	18,198	16,724	1,474	342
335-A	兵庫（東）	99	2,456	2,109	347	6
335-B	大阪・和歌山	188	5,636	5,001	635	-58
335-C	滋賀・京都・奈良	121	4,006	3,688	318	74
335-D	兵庫（西）	68	2,005	1,792	213	7
335	計	476	14,103	12,590	1,513	29
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	151	5,620	4,951	669	3
336-B	鳥取・岡山	96	3,115	2,807	308	-29
336-C	広島	101	3,496	3,291	205	44
336-D	島根・山口	101	3,250	3,025	225	-4
336	計	449	15,481	14,074	1,407	14
337-A	福岡・長崎	117	4,516	3,983	533	92
337-B	大分・宮崎	73	2,362	2,195	167	88
337-C	佐賀・長崎	84	3,146	2,632	514	69
337-D	鹿児島・沖縄	80	2,415	2,195	220	28
337-E	熊本	60	1,631	1,479	152	62
337	計	414	14,070	12,484	1,586	339
総計		3,263	105,061	93,114	11,947	1,499
世界のライオンズの		7.0%	7.7%	8.9%	3.6%	

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2012.5.31　国際協会集計

ライオンズ国または領域	208
世界のクラブ数	46,672
世界の会員数	1,373,041
※男性会員数	1,040,847
※女性会員数	332,194
期首からの増減	31,533

国	クラブ数	会員数	期首からの増減
アメリカ	12,320	350,945	-6,628
インド	6,197	223,379	18,688
韓国	2,133	84,783	1,446

ライオン誌7月号　昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費76円
2012年(平成24年)6月20日発行　毎月1回20日発行　第55巻第1号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 Tel 03-3542-9571
印刷所　共同印刷株式会社

第51回 OSEALフォーラム 福岡

2012年11月8日(木)-11日(日)

TEL:092-741-8601　FAX:092-741-8607

Website:http://www.oseal2012.com

PHOTO : FUMIO HASHIMOTO